

令和8年度

上尾市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和7年度事業対象)

令和8年●月

上尾市教育委員会

目 次

第1章 総論

1	はじめに	1
2	点検評価の対象	1
3	点検評価の方法	1
4	点検評価報告書の構成	2
5	第3期上尾市教育振興基本計画（基本理念、基本方針及び目標）	3
6	令和7年度 主要事業一覧	5

第2章 点検評価の結果

1 点検評価シート

目標Ⅰ 確かな学力の育成

施策1	創意工夫を生かした教育指導の実施	9
施策2	各学校種間の連携や小中一貫に向けた教育の推進	13
施策3	ICT教育の推進	14
	第三者評価者からの意見・提言	16

目標Ⅱ 豊かな心の育成

施策1	豊かな心を育む教育の推進	17
施策2	生徒指導の充実	19
施策3	人権教育の推進	23
	第三者評価者からの意見・提言	24

目標Ⅲ 健やかな体の育成

施策1	児童生徒の体力向上	25
施策2	学校保健の充実	27
施策3	食育の推進・学校給食の充実	30
	第三者評価者からの意見・提言	38

目標Ⅳ 自立する力の育成

施策1	キャリア教育の充実	39
	第三者評価者からの意見・提言	40

目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進

施策1	特別支援教育の推進	41
施策2	学校教育相談の充実	45
施策3	就学支援の充実	46
施策4	グローバル化に対応する教育の推進	50
	第三者評価者からの意見・提言	53

目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	
施策1 教職員の資質・能力の向上	54
施策2 学校経営の改善・充実	55
施策3 学校環境の整備・充実	59
施策4 学校安全の推進	64
第三者評価者からの意見・提言	67

目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上	
施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進	68
施策2 家庭教育の充実	70
施策3 幼児教育の充実	71
第三者評価者からの意見・提言	72

目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	
施策1 学び合い、共に支える社会の実現	73
施策2 生涯学習の「場」と「推進体制」の整備	78
施策3 未来へ向けた持続可能な生涯学習	80
施策4 図書館運営の充実	82
第三者評価者からの意見・提言	91

目標Ⅸ 文化芸術の振興	
施策1 文化芸術の振興	92
施策2 文化財の保護	95
第三者評価者からの意見・提言	101

目標Ⅹ 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	
施策1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実	102
施策2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実	105
施策3 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進	107
第三者評価者からの意見・提言	108

2 計画の指標進捗報告シート	109
----------------	-----

参考資料 教育委員会委員の活動状況

1 令和7年度 教育委員会会議の開催状況	114
2 令和7年度 教育委員会議決案件	115
3 令和7年度 教育委員会委員の主な活動	118

第 1 章 総論

- 1 はじめに
- 2 点検評価の対象
- 3 点検評価の方法
- 4 点検評価報告書の構成
- 5 第 3 期上尾市教育振興基本計画
（基本理念、基本方針及び目標）
- 6 令和 7 年度 主要事業一覧

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項には、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定され、また、同条第2項には、「教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」と規定されております。

この報告書は、これらの規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくことを目的にして、令和7(2025)年度において上尾市教育委員会が実施した施策について推進状況をまとめたものです。

上尾市教育委員会では、令和3(2021)年3月に、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、「第3期上尾市教育振興基本計画」を策定し、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間ににおける上尾市の教育の進むべき方向について「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を基本理念に、「生きる力を育む」「絆を育む」「学ぶ喜びを育む」の3つの基本方針を掲げ、施策の目標や方向性を示す10の目標を定めて事業を展開してきました。この事業について点検評価します。

令和8年●月 上尾市教育委員会

上尾市教育委員会

教育長	西倉 剛	教育長職務代理者	小池 智司
委員	谷島 大	委員	岩鉄 由美
委員	湯本 華奈子	委員	菰山 知奈美

2 点検評価の対象

令和8(2026)年度点検評価は、「第3期上尾市教育振興基本計画」に掲げた10の目標を達成するために令和7(2025)年度に実施した主要90事業を対象に行いました。

3 点検評価の方法

まず、目標・施策ごとに位置付けた主要な事業についてその実施状況を点検し、それを踏まえて自己評価を行いました。

次に、教育に関し学識経験を有する次の3人の方から目標ごとにご意見やご提言をいただきました。10月実施予定

聖学院大学政治経済学部政治経済学科教授	若原 幸範 氏
元埼玉県立文書館長	杉山 正司 氏
元上尾市立学校長	川原田 一郎 氏

4 点検評価報告書の構成

(1) 点検評価シート

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標				担当	
施策					

事業名				事業番号	0
-----	--	--	--	------	---

1、事業の概要

主な目的・内容					
主な対象(数)					

2、事業費の推移

年 度	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算
金 額	千円	千円	千円

3、評価指標

指標名	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標	指標の説明
指標名	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標	指標の説明
指標名	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標	指標の説明

4、当該事業の評価

成果					
課題					
今後の方向性					
目標・施策に対する評価					

令和7(2025)年度に実施した主な事業について、第3期計画における位置づけを明らかにし、主に担当した所属名や、評価年度である令和7(2025)年度及びその前年度の決算額やその翌年度の当初予算額を記載し、評価指標があるものについてはその指標を記載しました。

成果と課題をもとに今後の方向性を記載し、併せて第3期計画の目標・施策に対する自己評価を記載しました。

(2) 計画の指標に関する進捗報告シート

第3期計画における指標について令和7年度実績値とともに目標値を達成しているか、その取り組み内容とその評価、今後の方針について記載しました。

5 第3期上尾市教育振興基本計画（基本理念、基本方針及び目標）

（１）基本理念

本市では、平成 23(2011)年度から、第 1 期計画で掲げた「夢・感動教育 あげお」を基本理念として、教育の振興に取り組んできました。

この基本理念は、第1期計画において、おおむね 10 年先を見通した基本理念としたことから、令和 3(2021)年に策定した第 3 期計画では、第 1 期、第 2 期の理念を継承し新たな「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を基本理念に掲げ、教育の振興に取り組んでいます。

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

夢を育み

急速に進展する社会において、将来に明るい希望を抱き、しっかりとした志を持って自己実現を目指すことのできる、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する教育を実践します。

未来を創る

一人一人が社会の変化に主体的に向き合い、多種多様なつながりの中で、互いの価値観を認め、互いを尊重しながら、よりよい社会や豊かな人生を築き上げていくことのできる人間を育成する教育を実践します。

（２）基本方針

基本理念「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」の実現のため、本市の教育が目指す基本的な考え方として、次の 3 つの基本方針を定めます。

➤ 生きる力を育む

先の見えない変化の激しい時代を生き抜くため、自分の良さや可能性を認識するとともに、他者を価値ある存在として尊重し、知・徳・体の調和を図りつつ、公共の精神、感謝する心などを尊び、社会の一員として柔軟かつ的確に対応できる、自ら学び、考える、生きる力を育むことが重要です。

➤ 絆を育む

人口減少や少子高齢化の進展、国や地域を超えて世界的な結びつきが強くなっていく時代を生き抜くために、学校や家庭、地域、行政はもとより、企業や大学、関係団体など社会全体が連携・協働して一体となって取り組むことが必要です。郷土への愛着と誇りを大切にし、より良い社会をつくっていくためには、一人一人が、教育に対する関心を高め、主体的に教育に参画し、市民の絆を育むことが重要です。

➤ 喜びを育む

学ぶことは、人々に楽しさや満足感、達成感などの喜びを与えてくれます。学ぶことによって得た喜びは、学び続けることへのきっかけとなり、人々の能力を向上させ、人生を豊かにします。また、一人一人が学んだことを社会に生かすことで、社会全体の発展につながります。全ての市民がいつでも、どこでも学ぶことができ、笑顔いっぱいの社会の実現を目指し、学ぶ喜びを育むことが重要です。

(3) 目標

本計画の基本理念および基本方針を踏まえて、今後 5 年間(令和 3(2021)年度～令和 7(2025)年度)をとおして実施する施策の目標や方向性などを示すものとして、10の目標を定めます。

I 確かな学力の育成

創意工夫を生かして子供たちの確かな学力を育成します。

II 豊かな心の育成

公共の精神、他者を思いやる気持ちや感謝する心など子供たちの豊かな心を育成します。
いじめや不登校、非行・問題行動の防止などの課題に取り組みます。

III 健やかな体の育成

健康の保持・増進や体力向上などにより、健やかな体を育成します。

IV 自立する力の育成

社会や環境の変化に主体的に対応できる自立する力を育成します。

V 多様なニーズに対応した教育の推進

障害のある子供の学習環境の整備を計画的に進めるとともに、「多様な学びの場」の充実を図るなど、障害のある子供への支援・指導の充実を図ります。

VI 質の高い学校教育のための環境の充実

子供たちの教育環境を整備・充実するとともに、教職員の資質向上を図り、質の高い学校教育を推進します。

また、子供たちを災害・犯罪から守るための安全対策を講じます。

VII 家庭・地域の教育力の向上

社会全体で教育に取り組む気運を高め、コミュニティ・スクールや学校応援団など、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

VIII 生涯にわたる学びの推進

市民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな暮らしを送ることのできる生涯学習社会の実現のために、すべての市民がどのような状況下でも、個人の望む学びを継続できるよう、市民の生涯学習活動に対し、様々な角度から支援を行う体制を整備していきます。

IX 文化芸術の振興

多様な文化芸術活動を支援するとともに、貴重な文化財の保存・活用に取り組みます。

X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

生涯にわたり心身ともに健康で活力に満ちた生活を営むため、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる機会と場の提供に取り組みます。

6 令和7年度 主要事業一覧

★…重点事業を表す。

目標Ⅰ 確かな学力の育成

施策1 創意工夫を生かした教育指導の実施

- | | |
|---------------|-----|
| ★ 1 学級支援員派遣事業 | 学務課 |
| ★ 2 指導方法改善事業 | 指導課 |
| ★ 3 学力向上支援事業 | 指導課 |
| 4 学校教育支援事業 | 指導課 |

施策2 各学校種間の連携や小中一貫に向けた教育の推進

- | | |
|----------------|-----|
| ★ 5 小中一貫教育推進事業 | 指導課 |
|----------------|-----|

施策3 ICT教育の推進

- | | |
|---------------------|-------|
| ★ 6 小・中学校コンピュータ整備事業 | 教育総務課 |
| ★ 7 指導方法改善事業 | 指導課 |

目標Ⅱ 豊かな心の育成

施策1 豊かな心を育む教育の推進

- | | |
|--------------|-----|
| 8 教科用図書等整備事業 | 指導課 |
| 9 音楽会等開催事業 | 指導課 |

施策2 生徒指導の充実

- | | |
|----------------------|--------|
| ★ 10 いじめ対策等生徒指導推進事業 | 指導課 |
| ★ 11 さわやか相談室運営事業 | 教育センター |
| ★ 12 いじめ根絶対策事業(相談事業) | 教育センター |
| ★ 13 不登校対策事業 | 教育センター |

施策3 人権教育の推進

- | | |
|---------------|-----|
| ★ 14 人権教育推進事業 | 指導課 |
|---------------|-----|

目標Ⅲ 健やかな体の育成

施策1 児童生徒の体力向上

- | | |
|------------------|-----|
| ★ 15 部活動地域展開推進事業 | 指導課 |
| 16 児童生徒体力向上推進事業 | 指導課 |

施策2 学校保健の充実

- | | |
|---------------------|-------|
| ★ 17 学校健康診断及び健康管理事業 | 学校保健課 |
| 18 学校環境衛生検査事業 | 学校保健課 |
| 19 保健室管理運営事業 | 学校保健課 |

施策3 食育の推進・学校給食の充実

- | | |
|---------------------|------------|
| ★ 20 小学校給食管理運営事業 | 学校保健課 |
| ★ 21 調理場備品等整備事業 | 中学校給食共同調理場 |
| 22 小学校給食食器更新事業 | 学校保健課 |
| 23 小学校給食室設備整備事業 | 学校保健課 |
| 24 小学校給食室衛生管理推進事業 | 学校保健課 |
| 25 中学校給食調理委託事業 | 中学校給食共同調理場 |
| 26 中学校給食献立作成事業 | 中学校給食共同調理場 |
| 27 中学校給食共同調理場管理運営事業 | 中学校給食共同調理場 |

目標Ⅳ 自立する力の育成

施策1 キャリア教育の充実

- | | |
|-------------------|-----|
| 28 中学生社会体験チャレンジ事業 | 指導課 |
|-------------------|-----|

6 令和7年度 主要事業一覧

★…重点事業を表す。

目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進

施策1 特別支援教育の推進

- | | |
|----------------------|-----|
| ★ 29 特別支援学級補助員派遣事業 | 学務課 |
| ★ 30 特別支援教育推進事業 | 指導課 |
| 31 小・中学校特別支援教育就学奨励事業 | 学務課 |
| 32 特別支援教育マイスター派遣事業 | 指導課 |

施策2 学校教育相談の充実

- | | |
|-------------|--------|
| ★ 33 教育相談事業 | 教育センター |
|-------------|--------|

施策3 就学支援の充実

- | | |
|---------------------|-------|
| ★ 34 入学準備金・奨学金貸付事業 | 教育総務課 |
| ★ 35 小・中学校就学援助費補助事業 | 学務課 |
| ★ 36 学校給食費支援事業 | 学校保健課 |
| 37 要保護児童生徒医療費援助事業 | 学校保健課 |

施策4 グローバル化に対応する教育の推進

- | | |
|----------------|-----|
| ★ 38 英語教育推進事業 | 指導課 |
| 39 日本語指導職員派遣事業 | 学務課 |
| 40 中学生海外派遣研修事業 | 指導課 |

目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実

施策1 教職員の資質・能力の向上

- | | |
|--------------|-------|
| 41 教職員健康管理事業 | 学校保健課 |
|--------------|-------|

施策2 学校経営の改善・充実

- | | |
|--------------------|-----|
| ★ 42 小・中学校業務改善支援事業 | 学務課 |
| ★ 43 スクールロイヤー活用事業 | 学務課 |
| 44 通学区域検討事業 | 学務課 |
| 45 コミュニティ・スクール推進事業 | 指導課 |

施策3 学校環境の整備・充実

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ★ 46 小・中学校管理運営事業 | 教育総務課 |
| ★ 47 学校施設更新計画推進事業 | 新しい学校づくり推進室 |
| ★ 48 水泳指導委託事業 | 新しい学校づくり推進室・指導課 |
| 49 小・中学校図書整備事業 | 教育総務課 |
| 50 小・中学校教育教材整備事業 | 教育総務課 |

施策4 学校安全の推進

- | | |
|-----------------|-------|
| ★ 51 児童生徒安全推進事業 | 学校保健課 |
| 52 学校安全パトロール事業 | 学校保健課 |
| 53 通学路安全対策事業 | 学校保健課 |

目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上

施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

- | | |
|----------------|-------|
| 54 放課後子供教室運営事業 | 生涯学習課 |
| 55 学校家庭連携推進事業 | 指導課 |

施策2 家庭教育の充実

- | | |
|-------------|-------|
| 56 家庭教育推進事業 | 生涯学習課 |
|-------------|-------|

施策3 幼児教育の充実

- | | |
|-----------------------|-----|
| 57 幼稚園・保育所と小学校の連携推進事業 | 指導課 |
|-----------------------|-----|

6 令和7年度 主要事業一覧
目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進

★…重点事業を表す。

施策1 学び合い、共に支える社会の実現		
★ 58 公民館講座事業		生涯学習課
★ 59 人権教育集会所運営事業		生涯学習課
60 公民館管理運営事業		生涯学習課
61 人権教育集会所管理事業		生涯学習課
62 人権教育推進事業		生涯学習課
施策2 生涯学習の「場」と「推進体制」の整備		
63 生涯学習指導者活動推進事業		生涯学習課
64 学校施設開放(生涯学習)事業		生涯学習課
施策3 未来へ向けた持続可能な生涯学習		
65 大学等との連携による生涯学習推進事業		生涯学習課
66 二十歳のつどい事業		生涯学習課
施策4 図書館運営の充実		
★ 67 図書館運営事業		図書館
★ 68 図書館施設管理事業		図書館
★ 69 図書館本館改修事業		図書館
★ 70 ICTを活用した上尾市史等発信事業		図書館
★ 71 図書館資料整備事業		図書館
★ 72 子どもの読書活動支援センター運営事業		図書館
73 視聴覚ライブラリー事業		図書館
74 ブックスタート事業		図書館
75 セカンドブック事業		図書館

目標Ⅸ 文化芸術の振興

施策1 文化芸術の振興		
★ 76 美術展覧会事業		生涯学習課
★ 77 市民音楽祭事業		生涯学習課
78 文化芸術振興事業		生涯学習課
施策2 文化財の保護		
★ 79 「上尾の摘田・畑作用具」保存活用事業		生涯学習課
80 文化財調査・保存事業		生涯学習課
81 埋蔵文化財調査事業		生涯学習課
82 文化財保護啓発事業		生涯学習課
83 歴史資料調査事業		生涯学習課
84 市史担当分室及び資料室管理事業		生涯学習課

目標Ⅹ 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

施策1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実		
★ 85 屋外スポーツ施設管理運営事業		スポーツ振興課
★ 86 市民体育館・平塚サッカー場管理運営事業		スポーツ振興課
★ 87 学校施設開放(スポーツ振興)事業		スポーツ振興課
施策2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実		
★ 88 スポーツ大会・教室等開催事業		スポーツ振興課
89 スポーツ交流事業		スポーツ振興課
施策3 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進		
★ 90 スポーツ活動推進事業		スポーツ振興課

第2章 点検評価の結果

- 1 点検評価シート
- 2 計画の指標進捗報告シート

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	学務課
施策	施策1 創意工夫を生かした教育指導の実施		

事業名	学級支援員派遣事業	事業番号	1
-----	-----------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	通常学級に在籍する支援を要する児童生徒への生活支援および自立支援を行い、学校・学級の円滑な運営、安全確保を図るため、学級支援員「アッピースマイルサポーター」を配置しています。
主な対象(数)	市立小・中学校通常学級に在籍する支援を要する児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	162,282 千円	174,450 千円	214,085 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
アッピースマイルサポーターの配置人数	92人	91人	96人	配置のべ人数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	アッピースマイルサポーターを小・中学校全校に配置し、支援を必要とする児童生徒に対し、生活支援や自立支援など、学級担任の業務を補助することで、よりきめ細かな指導の充実が図れました。
課題	生活支援や自立支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあります。また、支援内容も多様化しており、児童生徒一人一人の特性などを見極め、より充実した支援体制が必要です。
方向性の今後の	引き続き、支援が必要な児童生徒に対して、適切な学級支援員（アッピースマイルサポーター）の配置をして、適切な支援を継続していきます。
目標・施策に対する評価	支援が必要な児童生徒への学級支援員（アッピースマイルサポーター）の配置により、充実した学校生活を送ることに貢献しています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	指導課
施策	施策1 創意工夫を生かした教育指導の実施		

事業名	指導方法改善事業(創意工夫を生かした教育指導の実施)	事業番号	2
-----	----------------------------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	適正な教育課程を編成・実施し、教育活動の充実や教員の指導力の向上及び授業の充実を図るために必要な図書・資料の作成・配布、研修会の開催等を行います。具体的には、市立小・中学校教育指導計画基本方針の印刷製本及び上尾市立小・中学校の教員への配布、研修会の開催、教師用指導書・教師用デジタル教科書の整備などを行います。
主な対象(数)	・市立小・中学校に在籍する全児童生徒及び教員並びに管理職 ・各種研修会等参加者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	188,657 千円	88,082 千円	47,730 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市立小・中学校教育指導計画基本方針の配布	電子配布	電子配布	電子配布	市立小・中学校が対象
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市教育課程研究協議会の実施	年4回	年4回	年4回	市立小・中学校が対象
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教師用指導書・教師用デジタル教科書の整備	小学校採択に伴う指導書の整備	中学校採択に伴う指導書の整備	学級増による不足分の整備	市立小・中学校が対象

4、当該事業の評価

成果	本市における教育の基本方針を掲載した「上尾市立小・中学校教育指導計画基本方針」を作成し、各上尾市内小・中学校に電子にて配布しました。また、中学校の教科書採択にともなう教師用指導書の整備および教師用デジタル教科書の整備を実施しました。さらに、上尾市教育課程研究協議会を年4回開催し、小中一貫教育の一層の推進に向けた取組や、教育課程の適切な実施を管理するための授業時間数の精査を行いました。
課題	上尾市教育課程研究協議会において、小中一貫教育の具体的な取組内容の深化、教育課程の精査を継続していくこと、授業におけるICTの効果的な活用が課題となっています。
方向性の今後の	教育課程の精査や小中一貫教育に向けた指導・助言を行うことで、各校の年間指導計画作成や授業時数の取扱い等の共通理解が図られ、適切な指導体制の整備につながっていることから、今後も基本方針の配布や協議会の開催を継続します。また、教員の指導力向上や質の高い授業づくりのため、教師用指導書や教師用デジタル教科書を適切に整備し、デジタルとアナログのベストミックスを図ることで、ICTを効果的に活用した教育活動のさらなる充実に努めます。
目標・施策に対する評価	中学校の教科書改訂に伴う教師用指導書および教師用デジタル教科書の整備を実施することができたため、ICT機器を活用するなどした各校の創意工夫を生かした教育指導の充実を図ることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	指導課
施策	施策1 創意工夫を生かした教育指導の実施		

事業名	学力向上支援事業	事業番号	3
-----	----------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	学力調査結果の分析を多面的に行い、学力向上策を立案して、学習指導に取り組むことで、児童生徒一人一人の学力を向上させます。各市立小・中学校の児童生徒一人一人に「確かな学力」を育成するため、基礎的な学力定着の実態を把握し、学校の教育課程の編成や学習指導方法の工夫・改善に役立てます。
主な対象(数)	・市立小学校第2学年・第3学年・第4学年・第5学年・第6学年全児童 ・市立中学校第1学年・第2学年全生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	8,855 千円	8,897 千円	11,921 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
市内標準得点 (小学校)	49.2点	48.8点	51.1点	国語・算数の標準得点(全校区の平均正答率を50とした時の標準得点)の平均値
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
市内標準得点 (中学校)	50.9点	51.3点	51.3点	国語・数学の標準得点(全校区の平均正答率を50とした時の標準得点)の平均値
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	小学校では、同学年比較で第4学年の国語、第5学年の国語と算数で昨年度を上回り、同グループ比較でも各学年の算数や国語で伸びが見られました。中学校でも、同学年比較で第1学年の数学と英語、第2学年の英語で昨年度を上回り、同グループ比較でも数学と英語で伸びが見られました。なお、標準スコアについては、すべての学年、教科において標準スコアが50以上であり、基礎的・基本的な学力は定着していると考えられます。
課題	令和7年度は、小学校第2・3・6学年で標準スコアが低い傾向にあり、特に算数の「数量や図形」における数の相対的な大きさや単位換算の概念理解に課題があります。中学校では、第1・2学年ともに国語で昨年度を下回りました。特に国語の「目的や意図に応じて必要な情報を的確に捉える力」や、「捉えた情報を整理し、根拠を明確にして表現する力」に課題があります。
今後の方針	学力調査結果に基づく復習教材の活用により、確かな学力を定着させます。また、学力向上プランの見直しを行うとともに、デジタルとアナログのベストミックスによる学習の充実を図ります。あわせて、小中一貫教育の推進に向けた学校支援チームによる継続的な支援を行い、主体的・対話的で深い学びを通して児童生徒の資質能力を育成します。
目標・評価	各種学力調査の実施を通して、児童生徒の学力状況を的確に把握することができ、学力向上プランに反映することができました。明らかになった課題に対しては、各種研修や学校訪問、小中一貫教育を見据えた研究発表会等を通して教員の指導力向上を図り、組織的な授業改善を進めることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	指導課
施策	施策1 創意工夫を生かした教育指導の実施		

事業名	学校教育支援事業	事業番号	4
-----	----------	------	---

1、事業の概要

主な目的・内容	各小・中学校に対し、学校課題研究の推進を支援することにより、各校における教育課題の解決を通して学校教育の質の向上を図ります。また、今年度新たに研究を委嘱する学校については、小中一貫教育を研究領域として設定し、「上尾市小中一貫教育基本方針」の推進に係る実践的な研究を支援します。
主な対象(数)	市立小・中学校(東中学校向原分校を含む。)

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	3,095 千円	3,270 千円	3,740 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
市委嘱研究発表校	11校	9校	6校	市内の3分の1の学校が研究発表を実施する。 ※中学校区ごとに委嘱を行うため、目標校数を減らしています。(令和8年度は原市中学校区、南中学校区に該当する6校が対象です。)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	令和7年度は9校の研究発表会が実施されましたが、円滑に運営を支援することにより、研究協議会やパネルディスカッション、講演会など、各校の研究成果を発表する場として充実したものとなりました。また、ICTを活用した資料作成の省力化など、各学校の負担を軽減しながら研究を推進する取組も進められています。
課題	小中一貫教育についての研究の推進及び研究発表会の円滑な運営についての経験がないことから、その具現化には課題があります。「上尾市小中一貫教育基本方針」の適切な履行のためにも、学校と意見交換を重ねながら柔軟に仕組みを整えとともに、適切に学校課題研究を支援することで学校教育の質のさらなる向上を推進することが必要となります。
方向性の今後の	中学校区を単位とした3～4校での一体的な研究推進に向け、研究主題の設定や研究の方向性の調整を通じて各校の協働を促します。あわせて、各校の実情に応じた伴走支援を行うとともに、研究発表に向けた手順や工程についての助言・支援を実施します。
に目標を評価する施策	研究発表会には、市内の学校管理職及び教員等が参加し、市内全ての学校に対して研究成果を共有することで、各校における創意工夫を生かした教育指導の実施や教育課題の解決を通じた学校教育の質の向上が図れています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	指導課
施策	施策2 各学校種間の連携や小中一貫に向けた教育の推進		

事業名	小中一貫教育推進事業	事業番号	5
-----	------------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	小学校、中学校生活に適應できない「小1プロブレム」やいわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる進学に伴う新たな環境への不適応などの課題等への対応のため、令和5年3月に策定した「上尾市小中一貫教育基本方針」に基づく、小学校・中学校9年間にわたる児童生徒の学びと育ちの連続性を重視した教育を展開するため、校種を超えた教職員・児童生徒の交流を図り、小学校・中学校の9か年を見据えた教育課程を編成するなど、小中一貫教育の推進に取り組みます。
主な対象(数)	市立小・中学校(東中学校向原分校を含む。)

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	- 千円	- 千円	- 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
小中連携の取組を実施する中学校区	全中学校区	全中学校区	全中学校区	全中学校区において、小中一貫教育に向けた小中連携の取組を実施する。
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	小・中学校間の円滑な接続を図るため、中学校教員による小学校への「出前授業」や、卒業前児童を対象とした中学校見学などを実施し、進学後の具体的なイメージを抱かせる取組を進めています。また、同中校区の小・中学校教員が合同で研修会等を開催し、地域特有の課題や先進的な取組について協議を重ねています。ここで「目指す児童生徒像」を共有することは、9年間を見据えた系統的な教育活動の展開や、指導方法の工夫・改善の推進に寄与しています。
課題	各中学校区において検討及び共有してきた「目指す児童生徒像」の達成状況を測定するための「具体的目標」を検討するなど、令和8年度から開始した小中一貫教育の取組状況を評価していくシステムを構築していく必要があります。
方 向 今 後 性 の	各中学校区で掲げた「目指す児童生徒像」の具現化に向け、各学校においては地域や校区の特色を最大限に生かした取組を展開します。また、教育委員会では、教育課程研究協議会と緊密に連携を図りながら、小中一貫教育の質的向上に資する研修を実施します。
目 標 す る 評 価 に 対	各学校では、「目指す児童生徒像」と「各中学校区の特色を生かした具体的な取組」、そして「具体的目標」の3つを可視化し、令和8年度からの小中一貫教育を計画的・効果的に推進することを目的に、中学校区の小・中学校が一枚岩となって、小中一貫教育推進プランの作成・検討を進めており、小中一貫教育に向けた着実な取組が進められています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標 I 確かな学力の育成	担当	教育総務課
施策	施策3 ICT教育の推進		

事業名	小・中学校コンピュータ整備事業	事業番号	6
-----	-----------------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	GIGAスクール構想の実現に向け、市内小・中学校の全児童生徒へのICT端末の配備及びネットワーク回線や教育用ソフトウェア等のICT環境の整備に取り組んでいます。また、教職員の校務におけるペーパーレス化、働き方改革を進めるため、全教職員に対し十分な性能を備えたノートパソコンを貸与し、校務の効率化を図るとともに、安全に利用できるセキュリティ環境の構築を進めています。
主な対象(数)	市立小・中学校(東中学校向原分校を含む。)

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	618,493 千円	575,266 千円	531,596 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
インターネット接続状況改善校数	6%	100%	100%	インターネット接続状況の改善が必要な学校(17校)のうち、接続状況が改善した学校
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市内小・中学校の児童生徒用ICT端末を更改し、県共通仕様を上回る高性能な端末を整備しました。 また、教職員用ノートパソコンの更改を実施し、校務ソフトウェアが軽快に動作し、業務効率が向上するよう、高性能なパソコンを導入しました。 さらに、令和6年度に実施したネットワーク異常の解消を、同様の環境である市内16校にも展開することで、対象全校におけるネットワーク障害を解決しました。
課題	ネットワーク環境に関しては、今後、校務DX化や学習のICT化の進展に伴い、小規模校においても大規模校と同様の回線契約へ移行するなど、通信回線のさらなる安定化に努める必要があります。 また、教職員の利便性向上のための校務端末の無線化と、セキュリティインシデントの防止を両立させるため、文部科学省ガイドラインが求めるセキュリティ基準を満たす環境の構築・整備が急務となっています。
方今後性の	ネットワーク環境については、回線契約やインターネットプロバイダーの変更も含め、最善の契約・構成となるよう、引き続き検証と改善を行っていきます。 また、セキュリティ環境の構築については、他自治体の動向や有識者の意見を参考にしながら、令和9年度を目途に、効率的かつ妥当な調達方法を確立できるよう、必要な情報の収集を進めていきます。
に目標価する施策の	児童生徒用ICT端末及び教職員用ノートパソコンの高性能化により、学習や校務におけるストレスを軽減し、効率的かつ快適な環境を整備することができました。 また、令和6年度に実施したネットワークアセスメントにより把握した問題点を改善したことで、児童生徒用のネットワーク接続率の大幅な改善を図ることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅰ 確かな学力の育成	担当	指導課
施策	施策3 ICT教育の推進		

事業名	指導方法改善事業(ICT教育の推進)	事業番号	7
-----	--------------------	------	---

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	令和7年1月に「GIGAスクール構想」の第2期により、児童生徒用の新たなICT端末が配備されました。本市においては、各学校で授業や校務においてICT端末が積極的に活用され、全ての学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に積極的に取り組んでいます。しかしながら、ICT端末やアプリケーション等の導入に伴う操作研修や授業改善研修、児童生徒が操作方法を習得できるよう指導することなど、ICTの普及に伴う新たな業務が生じ続けている現状があります。 本事業は、上記の状況等を解消するため、学校ICTの専門家であるICT支援員を配置することで、ICT端末等の効果的な活用と教員の負担軽減等を図るための事業となります。
主な対象(数)	市立小・中学校（東中学校向原分校を含む）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	27,720 千円	26,994 千円	31,720 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校ICT支援員の派遣の回数	1校につき 48回	1校につき 48回	1校につき 48回	各学校に学校ICT支援員を派遣する回数（年間）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	各学校への年度当初からのICT支援員派遣を継続し、年次更新作業等の校務支援業務に円滑に取り組むとともに、年間派遣回数の指標を達成することができました。 また、本事業における業務委託契約を令和8年度から令和10年度までの複数年契約としたことで、同一の事業者が長期にわたって支援員を派遣する体制が整い、本市のICT環境に合わせた支援ができることや、同じ支援員が継続して学校の支援に当たることが期待されます。
課題	令和7年度は端末の導入等もあったことから、ICT支援員が学校のICT環境の整備（校務支援業務）に従事することが多く、児童生徒への操作支援等を通じて授業の進行等を支援する授業支援業務への従事が少なかったことが課題です。
方 向 性	ICT支援員による校内ICT端末操作研修会等を充実させ、教員が自身の授業において積極的にICT支援員を活用できる環境づくりを進めていきます。 また令和8年度からの新たな学校ICT推進プラン「デジタル×アナログ ベストミックスで創る新しい学び」の推進のためにも、学校ICT推進プロジェクト部会等を通じて、ICT支援員の支援を受けて実施した授業実践や効果的な研修事例の共有を図ります。
策 目 標 対 する 評価	学校ICT支援員の派遣を各学校週1回、年間48回実施したことで、校務支援業務や児童生徒へのICT端末の操作支援業務、教職員向けの研修等を充実させることができ、本市のICT端末活用体制の整備に寄与しました。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅰ 確かな学力の育成

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	指導課
施策	施策1 豊かな心を育む教育の推進		

事業名	教科用図書等整備事業	事業番号	8
-----	------------	------	---

1、事業の概要

主な目的・内容	体育科・社会科の授業において、準教科書及び副読本の効果的な活用による授業内容の一層の充実を図り、児童生徒の基礎基本の定着、豊かな心の醸成を図るため、小・中学校の体育科、保健体育科の準教科書、社会科の副読本の無償給与と市独自の「社会科副読本」の作成・配布を行います。
主な対象(数)	市立小・中学校全児童生徒

2、事業費の推移

年度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金額	7,202 千円	6,733 千円	5,597 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
体育科準教科書整備率	100%	100%	100%	小学校3年生以上が使用
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
保健体育科準教科書整備率	100%	100%	100%	中学生全学年が使用
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
社会科副読本整備率	100%	100%	100%	小学校3年生が使用

4、当該事業の評価

成果	教科用図書が発行されていない体育科において、準教科書を無償給与する体制を構築することができました。これにより、児童生徒が「体の動きを視覚的に捉えられる共通教材」として授業に臨むことが可能となり、各校における技能向上のための指導環境が均一に充実させることができました。地域理解の深化を図るため、発達段階に応じた社会科副読本を配布し、具体的な郷土学習の基盤を整えることができました。特に、小学校第3学年向けの「のびゆく上尾」でのデジタル教材の導入をしたことで、より多角的で充実した情報提示が可能となりました。
課題	準教科書が、各校の授業内でどのように活用され、児童生徒の技能向上にどう寄与したか、その実践的な指導の支えとしての効果を継続的に研究・検証していく必要があります。また、社会科副読本やデジタル教材について、地域の特色や伝統、文化に対する深い理解へとつなげるための、教員側の効果的な活用法が課題です。
方向性の今後の	準教科書・社会科副読本の配布を今後も継続し、基礎・基本の定着および豊かな心の醸成を図ります。社会科副読本については、社会情勢や地域の変化、現場の活用実績を反映させるため「副読本作成委員会」を毎年4回開催し、定期的な内容更新とブラッシュアップを継続していきます。
目標・施策に対する評価	体育科の準教科書については、児童生徒が「体の動きを視覚的に捉えられる教材」として活用し、各学校において技能向上を図るための客観的かつ効果的な授業展開を可能にすることができました。社会科の副読本については、児童生徒に具体的な郷土学習を推進する基盤となりました。特に、小学校第3学年向け「のびゆく上尾」においてのデジタル教材では、ICTを活用した多角的なアプローチが実現し、学習内容のさらなる充実と理解の深化に寄与したと評価できます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	指導課
施策	施策1 豊かな心を育む教育の推進		

事業名	音楽会等開催事業	事業番号	9
-----	----------	------	---

1、事業の概要

主な目的・内容	市立小・中学校の児童生徒の音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を高め、情操豊かな児童生徒の育成を図ることを目的として、教員の研修機会の充実にも資するよう、毎年度1回「上尾市中学校吹奏楽演奏会」および「上尾市小・中学校音楽会」を実施しています。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,117 千円	2,260 千円	2,108 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市中学校吹奏楽演奏会	10校参加	10校参加	令和8年度から中止	吹奏楽部のある全10校が参加。 ※部活動のあり方見直しに伴い、令和8年度より中止。
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市小・中学校音楽会	33校参加	33校参加	33校参加	市立小・中学校が参加
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市内中学校の吹奏楽部にとっては、日頃の練習の成果を発表する場であるとともに、多くの方々に演奏を披露できる貴重な機会となっていました。 また、小・中学校音楽会においては、音響設備の整った会場で多くの観客の前で発表を行うとともに、他校の合唱に触れることができる貴重な機会となりました。さらに、合唱や指揮、伴奏などにおいて、教員相互の学び合いの場ともなり、指導力の向上を図ることができました。
課題	各学校における音楽教育の充実を図り、児童生徒が感性を豊かに働かせながら、他者と協働して音楽表現を創り上げたり、音楽を鑑賞してそのよさや価値について主体的に考えたりする態度を育成していくことが求められています。
方 向 性	文化センターを会場として演奏を発表することは、音響設備の整った環境の中で日頃の学習成果を十分に発揮できるとともに、多くの方々に演奏を鑑賞していただく貴重な機会となります。このような取組は、児童生徒の音楽性や表現力の向上、さらには音楽への関心や意欲を高めるうえで大変有意義であると考えられることから、今後もその意義を踏まえ、継続して実施していきます。
に 目 対 標 価 する 施 策 評 策	日頃の音楽における教育活動の成果を発表することの意義は大きく、児童生徒の学習意欲を高め、音楽科としての学力向上につながっています。また、学校間で互いの音楽を鑑賞することは、教員の指導力向上にもつながっています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	指導課
施策	施策2 生徒指導の充実		

事業名	いじめ対策等生徒指導推進事業	事業番号	10
-----	----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境の確保に向け、教職員による日常的な見守りや観察に加え、生活アンケートを活用して一人一人の状況を的確に把握し、いじめの早期発見・早期認知に努めています。また、認知したいじめ事案に適切に対応できるよう、協議会等を開催し、教職員の指導力の向上を図っています。さらに、いじめの未然防止の観点から、「なかよく楽しい学校生活を送るための標語」の募集や「上尾市いじめ防止子供サミット」の実施を通して、児童生徒のいじめを許さない意識の醸成と、いじめ防止に必要な資質・能力の育成に取り組んでいます。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒及び教員並びに管理職

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	5,719 千円	1,138 千円	1,574 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
ネットパトロール調査の回数	6回	0回	-	年6回の調査 ※技術的・法令上の理由によりSNSの監視が不可能であることから、令和6年度をもって調査は実施していない
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
いじめを考える授業の実施回数	1回	1回	1回	年1回の研究授業の実施
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
児童生徒及び保護者を対象としたいじめ防止に関する取組の実施回数	-	2回	2回	7月に「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」、12月に「いじめ防止子供サミット」を実施。

4、当該事業の評価

成果	「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」では、PTA、地域、学校、そして代表児童生徒がパネリストとして一堂に会し、「なぜ、いじめは起きてしまうのか」をテーマに協議を行いました。これにより、ネットいじめ等の現代的な課題に対し、大人と子供が共に自分事として捉え、解決に向けた共通認識を深めることができました。 また、「いじめを考える授業」授業研究会では、道徳や学級活動の時間に「いじめをなくすために」といった教材を活用した研究授業を公開し、教員間の協議を重ねました。この取組は、児童生徒に「いじめを許さない心」や「生命尊重」の意識を深く刻むとともに、教職員が組織的に対応するための実践的な指導力を高める成果に繋がりました。 さらに、「上尾市いじめ防止子供サミット」では、市内全小・中学校の代表児童生徒が参加し、各中学校区で行う「いじめ防止の取組」について協議を行いました。
課題	各学校において適切にいじめの認知が進んでいることに伴い、認知件数は増加していますが、そのような状況においても、学校が一つ一つの事案について組織的かつ丁寧に対応し、被害児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるようになるまで支援を継続することが求められます。また、教職員がいじめ事案に適切に対応するための指導力の向上が課題となっています。
方向性の今後の	各学校が、「いじめの防止等のための基本的な方針」等に則って、適切な対応を行うことができるように支援を続けていきます。そのために、いじめ対応のポイント等を示した動画を作成し、研修等の時間を用いて教職員が視聴できるようにします。今年度は、これらの取組を各学校の実態に合わせて実施するだけでなく、児童生徒自らがその成果を振り返り、「いじめを生まないための取組」へと改善し続けるPDCAサイクルを確立することが課題です。大人が主導する対策から、子供たちが「自分事」として学校風土を創り上げる段階への引き上げが必要です。
目標に対する評価・施策	各学校が「いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき適切に対応できるよう、継続的な支援を行うとともに、研修動画の活用により教職員の指導力向上を図ることができています。併せて、各学校の実態に応じた取組を推進するとともに、児童生徒自らが「いじめを生まないための取組」を計画・実施し、必要に応じて改善を図るPDCAサイクルにおいて、継続的に未然防止を図ることができています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	教育センター
施策	施策2 生徒指導の充実		

事業名	さわやか相談室運営事業	事業番号	11
-----	-------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	いじめや不登校などの未然防止とその解消を目的として、いつでも気軽に児童生徒や保護者の相談に応じ、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにします。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒、その保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	136 千円	156 千円	160 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
不登校生徒数割合	7.36%	6.35%	6.25%	不登校生徒数／全生徒数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
相談員が扱った相談の延べ回数	19,613回	16,418回	-	11名の相談員の年間延べ相談件数の合計
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
相談の解決率	74%	86%	100%	解決件数／相談件数

4、当該事業の評価

成果	各中学校にさわやか相談室相談員を配置することで、令和7年度は16,418回の相談に対応し、多くの児童生徒、保護者の気持ちに寄り添った相談や悩みの解決に向けた支援に取り組むことができました。各小学校にも、学区の中学校に配置されている相談員が月1回程度出向き、相談室を開設することで、気軽に関われる機会を設けております。
課題	不登校児童生徒の増加や相談内容の複雑化から、校内での情報共有と支援の充実を図るとともに、教室やスペシャルサポートルームへの接続や、関係機関との連携が必要なケースも増えています。
今後の方向性	中学校の不登校生徒数は減少傾向にありますが、さわやか相談室を利用する児童生徒も多いことから、研修会や講演会を通じてよりよい支援について共有することで相談室運営が工夫されるようにします。教職員との連携、学習の支援等とも関連付けながら本事業を継続していくものとします。
目標・施策に対する評価	小・中学生、保護者にとって、地域にある相談窓口として、身近な存在になっているケースがあります。このことから、悩みを一人で抱えないで済み、安心して学校生活を送れる体制づくりに役立っているといえます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	教育センター
施策	施策2 生徒指導の充実		

事業名	いじめ根絶対策事業(相談事業)	事業番号	12
-----	-----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	「いじめホットライン」を設置し、いじめられている児童生徒、保護者のためのいじめ専用相談電話窓口とすることで、児童生徒が抱える問題の解決を図ります。
主な対象(数)	市内在住の児童生徒、その保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	137 千円	141 千円	149 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
いじめホットライン・ホットメール相談件数	6件	6件 (匿名2件含む)	7件	いじめ専用電話・専用メール相談の年間件数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
いじめ相談解決率	100%	100%	100%	解決数/いじめ相談件数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成 果	4件のいじめホットラインと2件のホットメールが相談として入り、それぞれのいじめ相談に対して早急に対応し、全てのいじめ相談の解決を図ることができました。
課 題	いじめホットメール、ホットラインの中には、匿名のもの（令和7年度は2件）もあり、相談者の特定ができないケースもあります。そのような場合、解決できたかを見届けることが困難なこともあります。
方 向 性	月曜日から金曜日（祝祭日を除く）9時00分～17時00分は即時対応、それ以外は留守番電話で対応することで、24時間電話受付を行っている「上尾市のいじめに関する専用ダイヤル」は、本回線だけであり、いじめ専用ダイヤルで相談したいというニーズはあるため、本事業を継続していくものとします。
目 標 ・ 策 略 的 評価	相談の入ったケースについては全ケースにおいて相談の解決をすることができ、児童生徒・保護者が抱える問題の解決が図れました。専用ダイヤル及び専用メールを設置することで、いじめられている児童生徒、保護者がいつでも相談できる体制づくりに役立っているといえます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	教育センター
施策	施策2 生徒指導の充実		

事業名	不登校対策事業	事業番号	13
-----	---------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	長期欠席状態の児童生徒に対して、よりよい成長と自立を促し、学校復帰及び社会的自立を目指した指導支援を行う教育相談対応、学校適応指導教室運営を行います。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,200 千円	1,297 千円	1,645 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校適応指導教室利用数	43人	31人	-	教室を利用した児童生徒数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校復帰又は民間施設への接続率	77%	90%	90%	学校復帰又は民間施設に接続した人数／学校適応指導教室利用人数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	教育センターでは、相談者のニーズに応じて、来所、訪問、電話、オンラインなどの形態で小学生112人、中学生71人の不登校児童生徒及び保護者に相談対応してきました。また、そのうち学校適応指導教室を利用した小学生14人、中学生17人のうち、28人が学校や民間施設に行けるようになりました。
課題	不登校児童生徒を取り巻く状況が複雑であるため、学校復帰だけでなく、社会的自立につなげるために継続して関われる学校以外の関係機関への接続が必要となります。しかし、関わりを広げることが難しいケースもあります。
方 向 性	教育相談対応及び学校適応指導教室では、様々な体験や人との関わる機会を継続して設けるとともに、学校、保護者と連絡を密にすることで学校復帰及び社会的自立を目指した指導支援を継続していきます。
目標・施策に対する評価	学校適応指導教室を利用していた児童生徒が、活動の中で成長し人と関わる自信や挑戦するエネルギーをもてるようになりました。学校への復帰や、学校以外の民間施設等に通うことができるようになるなど、児童生徒の社会的な自立に向けた支援に成果があったといえます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅱ 豊かな心の育成	担当	指導課
施策	施策3 人権教育の推進		

事業名	人権教育推進事業(人権教育の推進)	事業番号	14
-----	-------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	人権を大切にする教育の充実と、心の豊かさを育む人づくりを推進し、人権尊重の意識を一層高めることで、いじめや差別のない学校づくりを目指します。また、他者の立場を理解し、思いやりの心をもつ児童生徒の育成に努めます。その実現に向けて、人権教育研修会（現地研修会を含む）を実施し、校長・教頭・教員の資質向上を図ります。
主な対象(数)	市立小・中学校（東中学校向原分校を含む。）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,224 千円	1,417 千円	1,423 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市人権教育管理職研修会	年1回	年1回	年1回	市立小・中学校の管理職を対象
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市人権教育現地研修会	年1回	年1回	年1回	市立小・中学校の教諭を対象（原則、採用10年未満で本研修会に参加していない教諭）
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市人権教育小・中学校研究会研修	年1回	年1回	年1回	市立小・中学校の人権教育主任を対象

4、当該事業の評価

成果	人権教育小・中学校研究会においては、全体会及び各分会（啓発・調査研究・資料作成）を開催したほか、人権教育管理職研修会では「部落差別の現実から学び、教育実践へつなげる」と題した講義を実施しました。また、人権教育現地研修会では、埼玉県平和資料館及び岩殿山正法寺を訪問しました。さらに、初任者研修会や人権教育授業研究会等も実施しました。特に、人権教育現地研修会については、従来のように特定の担当教員に限定せず、「原則として採用後10年未満で未参加の教員」を対象とし、若手教員を中心に積極的な参加を促しました。各学校においては、人権感覚育成プログラムを人権教育の全体計画および年間指導計画に位置付け、校内研修や日々の授業の中で継続的に取り組むことができました。
課題	充実した研修の実施を通して、管理職や教員としての資質・能力の向上を図るとともに、豊かな人権感覚を備えた児童生徒の育成は、今後も学校教育の重要な役割であります。また、人権に関する課題は社会の変化に伴い新たに生じてくるものであり、適切に対応していく必要があります。そのため、多様な人権課題の中から重点を明確にし、より効果的で充実した研修会の企画・実施を進めていくことが求められます。
今後の方向性	ヤングケアラーへの支援をはじめとする新たな人権課題への取組を進めるとともに、人権教育に関する優れた実践事例について積極的に収集・整理し、校内外へ周知・発信していきます。これらを通して、教職員の人権教育に関する理解を深めるとともに、指導力の向上を図っていきます。
目標・施策に対する評価	人権教育小・中学校研究会全体会・各分会や人権教育管理職研修会、人権教育現地研修会、初任者研修、人権教育授業研究会等の実施を通して、校長・教頭・教員の資質向上を図ることができました。特に人権教育現地研修会においては、本研修会に初めて参加する教員も多く、資質向上に資する有意義な研修の機会となりました。 また、各学校においては、人権感覚育成プログラムを人権教育の全体計画および年間指導計画に位置付けるとともに、日常の授業を含めた学校教育全体での取組を進めることにより、上尾市内の教職員および児童生徒の人権感覚の育成を図ることができました。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅱ 豊かな心の育成

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	指導課
施策	施策1 児童生徒の体力向上		

事業名	部活動地域展開推進事業	事業番号	15
-----	-------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	令和7年度は「AGE0地域クラブ」の組織運営体制の確立と実証事業の大幅拡大を目指します。具体的には、AGE0地域クラブ代表者会議の設置や統括コーディネーターの配置を行い、スポーツ14種目、文化芸術6種目の計20種目・28拠点程度で実証事業を実施します。（休日の部活動は原則土曜日のみに制限）。また、新入生保護者への説明強化や周知、困窮家庭への支援策整備を進めるほか、「イングリッシュサロン」事業を4拠点で有償実施し、5月からは国の委託事業にも参加します。さらにAGE0地域クラブ実施主体団体の公募システム構築やアッピー部活動コーチ及びサポーターの活用も図ります。
主な対象(数)	市立中学校の生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	21,118 千円	10,863 千円	12,814 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
アッピー部活動サポーターの配置総数	57人	53人	57人	市立中学校対象
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
全国大会等に出場する生徒の派遣に係る費用の補助回数	17回	15回	20回	全国大会等に出場する生徒の派遣に係る費用の補助を適切に行う数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
アッピー部活動コーチの配置総数	22人	22人	22人	市立中学校対象

4、当該事業の評価

成果	令和7年度「AGE0地域クラブ」実証事業におけるアンケート調査では、「AGE0地域クラブ」に参加した児童生徒の99%が「参加して良かった」と回答しました。良かった理由として、プロや専門家による専門的な指導、前年度と異なるレベル別の活動や紅白戦の実施などが高く評価されています。保護者の約89%も事業に満足しており、1回500円の参加費についても80%が「適正」と捉えています。また、「イングリッシュサロン」でも参加生徒全員が活動に満足しており、指導体制や環境面において極めて高い成果が得られました。さらに、アッピー部活動コーチ及びサポーターの配置も順調に進み、平日の学校部活動の充実も図ることができました。加えて、「地域クラブ活動参加支援制度」を整備が終了し、令和8年度より運用できる運びとなりました。
課題	1点目は「運営費・指導者の安定的な確保」です。参加者の少ない種目の開設による運営費の逼迫や、4拠点の設置に伴う多くの登録指導者の確保が必要となっています。2点目は「認知度の拡大及び地域クラブに対する理解の促進」です。児童生徒や保護者、教職員等に対して、地域展開の意義や見通しを周知し、正確な認識を持ってもらう必要があります。3点目は「平日のみの部活動の実施、平日の地域展開、地域クラブによる大会等への参画」であり、スムーズな体制移行や新たなスキーム、参画方法の検討が求められています。
今後の方向性	運営費確保に向けては、参加者が少ない種目の正規開設を見送り「チャレンジ種目」とすることや、企業協賛の獲得を目指します。指導者確保では、1種目に複数団体を認定するほか、教員や地域指導者等の採用・紹介を進めます。認知度拡大のためには、各種リーフレットの発行、SNSの活用、保護者説明会の開催、関係団体との連携を強化します。さらに、平日の地域展開や大会参画の課題に対しては、推進協議会やタスクフォース等で手立てを検討し、県教育局や関係団体と連携して新たな在り方を積極的に協議していきます。
目標・施策に対する評価	「AGE0地域クラブ」事業は、全県をリードする先進的な取組となっており、令和8年8月以降の休日の地域クラブ活動の体制整備が順調に進んでいると言えます。令和7年度は、計画どおり20種目へと規模を拡大し、参加生徒の99%、保護者の約89%から高い満足度を得たことは大きな成果です。プロや専門家による質の高い指導や異年齢交流は、生徒の居場所や技術向上に寄与しています。一方で、保護者の送迎負担をなくすこと、持続可能な費用設定などが今後の課題です。引き続き、アッピー部活動コーチ及びサポーターのさらなる活用や、協議会における検討を経て、これらを改善し、完全展開に向けた基盤の確立に努めます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	指導課
施策	施策1 児童生徒の体力向上		

事業名	児童生徒体力向上推進事業	事業番号	16
-----	--------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図り、心身ともに健やかでたくましい子の育成を目指す事業です。上尾市中学校体育連盟による学校総合体育大会および県民体育大会兼新人体育大会の市内予選や、小学校体育連盟による陸上競技大会の実施を通じて、児童生徒の体力向上を推進しています。 令和7年度においては、小学校体育連盟および中学校体育連盟が円滑に事業を推進できるよう、補助金等の交付を行います。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	4,853 千円	2,766 千円	6,295 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
新体力テストにおける市全体の総合評価A+B+C児童生徒の割合	7校	2校	10校	県目標値をクリアした学校
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	上尾市小学校体育連盟及び上尾市中学校体育連盟に対し、補助金を適切に交付しました。上尾市小学校体育連盟と共催し、上尾運動公園陸上競技場において上尾市小学生陸上競技大会を開催しました。上尾市中学校体育連盟と共催し、学校総合体育大会及び新人体育大会上尾市予選会を開催しました。 これらの大会の実施を通して、児童生徒のスポーツに対する関心と意欲の向上が図られ、体力の向上につながりました。
課題	埼玉県平均と比較して低い水準にある状況が継続していることから、児童生徒の体力向上は喫緊の課題となっており、その解決に向けては、体育授業の工夫改善や継続的な運動機会の充実を図る取組の推進が求められています。
方向性の今後の	上尾市小学校体育連盟及び上尾市中学校体育連盟と連携し、各種体育大会を実施するとともに、大会に向けた取組の充実を図ります。また、上尾市児童生徒体力向上推進委員会を中心として、各校の体育授業において運動量を確保した授業への展開を図り、児童生徒が運動に親しむ時間の確保に努めることで、体力向上につなげます。さらに、新体力テストを起点としたPDCAサイクルを推進し、課題となる体力の改善を図ります。
目標・施策に対する評価	上尾市小学校体育連盟及び上尾市中学校体育連盟への補助金を適切に交付するとともに、予定した諸大会を着実に実施することができました。体力低下には一定の改善傾向が見られるものの、依然として体力水準は低い状況にあることから、取組の一層の充実が必要です。今後は、体力向上推進委員会を中心として、新体力テストの結果を活用したPDCAサイクルの確実な実施を図るとともに、各校の実態に応じた体育授業の工夫・改善や、運動量の確保に向けた授業展開を推進し、児童生徒の体力向上に資する取組を組織的かつ継続的に進めていきます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策2 学校保健の充実		

事業名	学校健康診断及び健康管理事業	事業番号	17
-----	----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	児童生徒等の健康の保持増進を図るため、疾病・異常を早期に発見し保健指導を実施します。また、児童生徒がその発達段階に応じて自主的に健康で安全な生活を実践することのできる能力と態度を身に付けさせます。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒、就学前児童

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	78,789 千円	81,393 千円	90,885 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
DMF保有数	0.26本	0.37本	0.3本	過去に虫歯になったことがある歯の本数を表したもの
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学校保健安全法に基づいて児童生徒の健康の保持増進を図るため、全ての小中学校で、6月末までに内科・歯科などの定期健康診断を実施し、治療が必要とされる児童生徒に対して、治療について受診勧奨を実施しました。同じく、同法に規定されている就学時健康診断を小学校で実施し、就学に当たって入学前までに必要な治療の勧告等を行うことができました。
課題	不登校児童生徒の増加等により定期健康診断を受けていない子どもたちが増えていきます。健康診断の未受診は、病気や発達障害の早期発見を妨げ、健康への影響が懸念されています。
方 向 性	不登校児童生徒が健康診断を受診できるような機会を確保するため、家庭や医療機関と協力し体制づくりに努めます。健康診断の機会を確保することで、子どもの健全な成長を支援します。
目標・施策に対する評価	定期健康診断の実施により、児童生徒の健康を効果的に保持・促進する成果が得られました。健康状態の定期的なチェックを行うことで、子どもたちが安心して日々を過ごし、学校生活に前向きに取り組める環境を整えることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策2 学校保健の充実		

事業名	学校環境衛生検査事業	事業番号	18
-----	------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市立小・中学校の衛生的な環境の維持・改善を図ることを目的に学校薬剤師による検査、指導を行います。関連法令に基づき、照度、ダニ、空気、飲料水、プール、給食室等の定期的、臨時的な検査を実施します。
主な対象(数)	市立小・中学校（東中学校向原分校を含む。）の施設内

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	12,136 千円	13,187 千円	13,083 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
再検査（延べ）	3校	0校	0校	プール水質検査における再検査の対象校
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学校薬剤師による定期環境検査を実施することで、衛生的な学校環境が保持されていることが確認できました。簡易的なものは、その場で指導助言を行うなど、検査結果に応じて対処することができました。
課題	プール水質検査において、検査日前日が雨天の場合に濁度が高くなり、再検査になる可能性が上がりますが、薬剤師の日程や学校のプール授業実施期間等の関係から別日への日程調整が難しい状況です。同様に、検査に望ましい使用状況での実施は、小・中学での利用時期に差があるため、調整に課題が残ります。
今後の方向性	学校のプールを民間委託に切り替えていることから、今後プール検査の学校数が減ってくる予定ですが、近隣自治体との民間利用可能施設のキャパシティの問題から、減少は横ばい傾向が予想されます。 水質管理知識の維持に努めていきます。
目標・施策に対する評価	学校環境衛生検査を実施することで、学校の環境を衛生的に維持することができ、児童生徒の健康を保持促進することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策2 学校保健の充実		

事業名	保健室管理運営事業	事業番号	19
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	小・中学校の保健室で使用する医薬品、ベッドリネン類、保健室備品の整理、オージオメータ・計量器の定期検査、備品の整理を行います。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	4,254 千円	4,670 千円	4,803 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
オージオメータ 検査合格台数	55台	55台	55台	検査合格台数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	保健室で使用する医薬品や備品を整備することにより、児童生徒が安全で、安心した学校生活を送ることができています。 また、オージオメータ等の検査を適切に実施することにより、機器の不具合をいち早く発見して、買い替え等の対応ができています。
課題	保健室の備品（オージオメータや体重計等）が、経年劣化により順次、買い換えが必要となっています。これらの備品は、健康診断で使用するため、不可欠なものであり、正確さが重要です。また、近年の気象変動に伴い、暑さ対策や落雷事故対策なども、引き続き課題となっています。
方向性の今後の	学校からの希望調査や備品台帳で購入年を把握することにより、備品の使用状況や必要性を詳細に確認し、優先順位を踏まえた計画的な買い換えを実施します。また、継続的な管理と更新を通じて、適切な備品の提供を確保し、学校現場のニーズに応じた柔軟な対応を行います。
目標・施策に対する評価	健康診断関係器具や応急処置用器具をはじめ、保健室に必要な備品を整備し、児童生徒が安心して利用できる環境を維持しています。これにより、保健室は健康管理や緊急事態への対応に十分な機能を果たせる体制を保持しています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	小学校給食管理運営事業	事業番号	20
-----	-------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	小学校給食材料費、給食室燃料費、学校給食献立作成用ソフト使用料など小学校給食における管理運営に関する事務を行っています。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	673,011 千円	694,615 千円	734,864 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校給食関係職員研修会	2回	2回	2回	調理員や栄養士など給食関係職員向けに実施する研修会の回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	令和5年度から公会計化しましたが、管理は市が行ってきたものの、徴収は学校が行っていました。令和6年度に、給食費管理システムの構築や口座振替に係る金融機関との調整、振替口座のセットアップ等を行い、令和7年度から徴収業務も市に移行できました。このことで、給食に関する業務を市が一元管理し、学校の働き方改革に貢献できました。 また、食材価格やその他物価が高騰する状況が続き、先行きも不透明な中においても、子供たちに安全・安心でおいしい給食を提供するなど、給食運営を滞りなく継続することができました。
課題	食材費の高騰が続く中において、献立を作成するうえでこれまでの1食単価設定では児童に必要なエネルギー量の確保や食育の観点において季節のメニューの選定などが難しくなっております。 また、令和8年度から国・県の交付金を活用し、無償化を実現しましたが、交付金の上限額を超える部分を市が補填しているため、引き続き市費が投入されています。また、中学校については、国の交付金の対象外となっているため、小学校の児童保護者との差が生じている。このため、市の独自事業として、月額4,000円の補助を行っているが、このことで、2億円を超える市費が投入されております。中学校の無償化に向けた検討を引き続き行っていく必要があります。
方今 向後 性の	これまでと同じ水準の学校給食を維持するとともに、食育の観点からも工夫を凝らした献立作成をおこなっていく予定です。そのうえにおいて、小学校給食における国の無償化の動向を注視しつつ、給食費のあり方を検討していく予定です。
策目 に標 対対 価施	学校給食運営委員会の開催や、献立作成、賄材料費の適切な運用により、安全・安心な学校給食を提供することができました。大きな物価変動は、学校給食の充実においては大きな懸念となっています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	中学校給食共同調理場
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	調理場備品等整備事業	事業番号	21
-----	------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	安全安心な給食を安定的に供給するにあたり、緊急時の適正な修理・修繕を行うとともに、給食備品等を常に良好な状態で維持していくため、中学校給食共同調理場及び各中学校調理室の設備、厨房調理機器等の整備・更新を行います。
主な対象(数)	中学校給食共同調理場及び中学校調理室（11校）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	49,608 千円	27,615 千円	73,772 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
給食停止日数	0日	0日	0日	給食設備や衛生管理面等に起因する給食停止日数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	老朽化した厨房設備及び備品等の修繕（炊飯設備、食器洗浄機、污水处理施設等）や更新（ガス回転釜、カッターミキサー、高速ミキサー、冷蔵庫等）を行うことにより、給食停止日数を0日に抑えることができました。
課題	厨房設備及び備品等の老朽化が進んでいます。これまでも修繕や更新により都度対応していますが、故障発生時には給食提供に大きな影響を与えてしまう可能性があるため、定期点検結果などを踏まえて適切に管理する必要があります。
方今 向後 性の	厨房設備及び備品等に不具合が発生した際には、修繕や更新により対応しています。今後も安全安心な給食提供のため、厨房設備及び備品の修繕を適切に実施するとともに、更新についても計画に基づき実施していきます。
目標・ 施策に 対する 評価	学校給食の提供体制を施設や設備等の面から適切に整備することにより、安全安心な学校給食を継続して提供するとともに、生徒の健やかな体の育成に寄与することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	小学校給食食器更新事業	事業番号	22
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	小学校給食で使用するボウル、二つ仕切り皿及びトレイについて、経年劣化による損傷などにより、衛生面や安全性に影響を及ぼすことから、概ね8年を目安に更新を行っています。
主な対象(数)	ボウル25,520個、二つ仕切皿12,760枚、トレイ12,760枚

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	13,087 千円	16,281 千円	13,184 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
食器入替枚数	10,140枚	10,080枚	7,680枚	食器の定期的な更新
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	小学校給食で使用している食器を新しいものに交換することで、経年劣化による衛生面や安全性の低下を防ぐことができました。 令和7年度は、上尾小学校、大石小学校、大石南小学校、平方東小学校、芝川小学校、上平北小学校6校で、ボウル6,720枚・二つ仕切り皿3,360枚を入れ替えました。
課題	小学校給食で使用するボウル、仕切り皿、トレイは、安全で衛生的な食事環境を維持するため、買い換えが必要です。しかし、物価高騰に伴い、これらの食器を更新するためのコストが増加していることが課題となっています。
方 向 性	今後も、安全で安心な給食を提供できるよう、令和7年度から令和9年度までの3年間をかけて、残りの学校の食器（ボウル・二つ仕切り皿）の更新を行う予定です。 R7：6校、R8：5校、R9：6校
目標・施策に対する評価	令和6年度から令和9年度までの4年間をかけて、食器（ボウル・二つ仕切り皿）の更新を行う計画に対して、令和7年度は計画通りに行うことができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	小学校給食室設備整備事業	事業番号	23
-----	--------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	小学校給食調理室に必要な厨房備品等の更新や修繕、保守点検等を行います。
主な対象(数)	回転釜、スチームコンベクションオーブン、フライヤー、食器洗浄機、熱風消毒保管機、球根皮むき機、野菜裁断機、冷蔵庫等

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	43,402 千円	52,148 千円	65,506 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
給食停止日数	0日	0日	0日	給食設備の不具合に起因する給食停止日数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	経年劣化が進んでいる厨房機器の入替を計画的に実施し、小学校給食室の設備を整備しました。 令和7年度は、主に上平小学校他1校の回転釜や大石北小学校の食器洗浄機、中央小学校他10校の熱風消毒保管機等の厨房機器を新しいものに交換し、安全性と衛生環境の向上を図りました。
課題	物価上昇や人件費高騰の影響により、耐用年数通りには設備更新が進められていない状況です。設備更新が遅れることで、老朽化による故障が増加する傾向にあり、学校からの修繕依頼は予算内では収まらないことから、修繕の遅れが課題となっています。
方今後性の	設備の老朽化対策として、故障頻度や機器の重要度を評価し、優先順位を設定することで、計画を再構築します。また、定期的な保守点検による早めの対応により、故障リスクの低減を図ります。
目標・施策に 対する評価	給食室備品の入替を計画通りに行うことができました。給食室備品の故障等による影響で給食を停止することなく、給食提供を行うことができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	学校保健課
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	小学校給食室衛生管理推進事業	事業番号	24
-----	----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	学校給食衛生管理基準・マニュアルに基づき、必要な消耗品、検査、クリーニング、包丁研ぎ、給食室洗浄・消毒などを行います。
主な対象(数)	・細菌検査（検便検査/月2回）・ノロウイルス高感度検査（10～3月/月1回）・包丁とぎ（年1回）・給食室洗浄（22校/年1回）・給食室殺虫消毒（22校/年2回）・給食室殺菌消毒（22校/年1回）・グリストラップ清掃（22校/年3回）

2、事業費の推移

年度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金額	30,732 千円	31,598 千円	41,098 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
給食停止日数	0日	0日	0日	衛生管理面等に起因する給食停止日数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	細菌検査や小学校給食施設の洗浄、殺虫・殺菌消毒を定期的に行い、衛生環境を維持することで、安全に調理を行うことができました。 細菌検査・ノロウイルス高感度検査を調理員が定期的に行うことで、安全・安心な給食提供ができました。
課題	現在の小学校給食室は衛生管理基準には適合できていないため、給食施設の更新を計画的に進める必要があります。 近年上昇し続けている気温とともに、夏場の給食室内がとても暑い状態となっており、給食調理員の命を守るため熱中症対策が急務となっております。
方向性の今後の	衛生管理基準に適合させるため、給食施設の更新を計画的に進めいきます。 令和7年6月に「労働安全衛生規則」の一部改正があり、事業者における熱中症対策についての規定が設けられたことから、引き続き給食室における熱中症対策を強化していきます。
目標・施策に対する評価	衛生管理基準に伴う課題等の解決に向けて、令和7年1月に学校給食施設基本計画を策定し、給食施設の更新に関する方向性を決定しました。 小学校の給食室の衛生管理に必要な調理用洗剤、衛生手袋、調理器具等の購入や、給食室内の洗浄や消毒等、衛生環境を整えることで、安全安心な学校給食運営が行うことができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	中学校給食共同調理場
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	中学校給食調理委託事業	事業番号	25
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	適正な人員確保、経費縮減等の観点から、平成5年1月給食開始当初より、調理等業務（調理・配送・洗浄・ボイラー等管理）を業者に委託しています。 ・委託業者調理員等の人数（令和8年4月1日） 中学校給食共同調理場38人（社員16人、パート22人） 中学校調理室（11校）63人（社員11人、パート52人） ・年間調理実施回数（令和7年度）181回
主な対象(数)	中学校給食共同調理場及び中学校調理室（11校）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	252,945 千円	252,945 千円	252,945 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
給食停止日数	0日	0日	0日	給食設備や衛生管理面等に起因する給食停止日数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	給食調理等業務（調理・配送・洗浄・ボイラー管理等）を上尾市独自の中学校給食提供方式に対応できる業者に一括して委託することにより、衛生管理面等に起因する給食停止日数を0日に抑えることができました。
課題	共同調理場と各中学校給食室で調理したものをあわせて提供する独自方式を採用しているため、現状では複数の業者が入札に参加していますが、今後対応できる委託業者が限られてくることも考えられます。
方向性の今後の	評価指標を継続して達成できており、適正な人員確保、経費縮減等の観点からも、引続き調理等業務の委託を行っていきます。
目標・施策に対する評価	衛生管理等の面において、学校給食衛生管理基準等に基づき適切な調理等業務を業者に履行させることにより、安全安心な学校給食を継続して提供するとともに、生徒の健やかな体の育成に寄与することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	中学校給食共同調理場
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	中学校給食献立作成事業	事業番号	26
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	中学校給食共同調理場において献立原案を作成し、学校関係者で構成される中学校献立専門員会及び中学校物資専門委員会で献立及び食材の発注について審議決定します。
主な対象(数)	年間給食実施回数

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	120 千円	108 千円	137 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
年間献立作成数	184回	181回	179回	給食実施計画に基づく給食実施回数 ※目標値については、祝日等暦の関係で回数が減少している
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	地元産の食材、郷土食や行事食などを取り入れつつ、栄養バランスのとれた魅力ある学校給食の献立を年度当初の予定通り給食を停止することなく181回作成し、給食用食材を調達しました。
課題	食材価格の上昇や納入業者数の減少などにより、安心・安全な食材の調達や栄養バランスのとれた献立の作成への影響が懸念されるため、食材や献立内容の工夫などを継続して実施する必要があります。
今後の方向性	食材価格上昇の課題がありますが、引続き食材や献立内容等を工夫するなどして、今後も栄養バランスのとれた魅力ある給食を提供していきます。また、国が定める食品成分表が今後改定される際には、現在使用している栄養管理システムにの更新も含めた対応を検討していきます。
目標・施策に対する評価	食材価格上昇などの影響を受けながらも、栄養バランスのとれた魅力ある学校給食の献立を作成することで、食育の推進や学校給食を充実させるとともに、生徒の健やかな体の育成に寄与することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅲ 健やかな体の育成	担当	中学校給食共同調理場
施策	施策3 食育の推進・学校給食の充実		

事業名	中学校給食共同調理場管理運営事業	事業番号	27
-----	------------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	給食調理・洗浄業務の消耗品費、燃料費、光熱水費、設備等の保守業務委託料などにより、中学校給食共同調理場の運営上必要な維持管理や衛生管理を行うとともに、給食食材の購入等を行います。
主な対象(数)	中学校給食共同調理場及び中学校調理室（11校）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	462,651 千円	464,015 千円	524,024 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
給食停止日数	0日	0日	0日	給食設備や衛生管理面等に起因する給食停止日数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	給食調理や衛生管理用の消耗品、給食食材を適切に購入するとともに、施設全体や各種設備の維持管理を適切に行うことにより、給食停止日数を0日に抑えることができました。
課題	食材価格、消耗品価格及び光熱水費などの物価上昇に伴い、中学校給食共同調理場の適切な管理運営への影響が懸念されます。
方向性の今後の	今後の物価上昇等のリスクを踏まえた予算を確保するとともに、不測の事態が発生した際には、予算措置も含めた適切な対応を行っていきます。
目標・施策に対する評価	中学校給食共同調理場の管理運営を適切に行うことにより、安全安心な学校給食を継続して提供するとともに、生徒の健やかな体の育成に寄与することができました。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅲ 健やかな体の育成

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅳ 自立する力の育成	担当	指導課
施策	施策1 キャリア教育の充実		

事業名	中学生社会体験チャレンジ事業	事業番号	28
-----	----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市内中学校生徒が2日間の社会体験活動を通じて勤労観や職業観を育み、社会性や自立心、地域への意識を高めます。また、進路指導やキャリア教育の一環として、ふれあい講演会を実施し、働く意義や成功体験に触れる機会を提供します。教職員やPTA、地域事業所との連携し、安心して活動できる環境を整備します。また、地域特有の産業や文化に触れることで、持続可能な人材育成や地域活性化に寄与する取り組みを目指します。
主な対象(数)	社会体験活動：市立中学校第2学年生徒 ふれあい講演会：市立中学校生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	564 千円	651 千円	825 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
社会体験実施校数	11校	11校	11校	全市立中学校で実施
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
ふれあい講演会実施校数	11校	11校	11校	全市立中学校で実施
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	全市内中学校において、社会体験事業及びふれあい講演会を実施しました。職場体験における学校と事業所とのマッチングの負担を減らすために、前年度御協力いただいた事業所に対し、グーグルフォームを活用し次年度も本事業に参加いただけるかに回答していただきました。また、その結果を学校に共有し、事業所へのアポイントメント負担を軽減させました。また、昨年度同様実施した実施後の生徒アンケート結果からは、昨年度同様、目標とする職業観や勤労観を養う貴重な機会となっていることが示されました。
課題	次年度も社会体験事業に参加いただけるかを聞いた事業所向けアンケートの回答率が、約半数となっており、回答率を上げる工夫が必要です。また、3日間開催を視野に入れ、事業所向けに行った「適当な実施日数」を聞いた事後アンケートについては、91%が2日開催が適当と回答しています。
方今後性の	生徒が希望する職種を経験できるよう引き続き事業所等への周知活動を行っていきます。また、本市では、総合的な学習の時間においてシティズンシップ教育を取り入れており、SDGsの理解等を通して、企業訪問やまちづくりの学習の一部として位置づけていきます。
策目標に標対す評価	生徒の勤労観や職業観を育み、社会性や自立心、地域への意識を高めることができました。また、学校、保護者及び地域との連携を深める機会にすることができました。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅳ 自立する力の育成

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学務課
施策	施策1 特別支援教育の推進		

事業名	特別支援学級補助員派遣事業	事業番号	29
-----	---------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	特別支援学級において、担任教員の行う指導の補助にあたるため、特別支援学級補助員を特別支援学級が置かれている市立小学校に配置します。
主な対象(数)	市立小学校の特別支援学級に在籍する児童

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	63,445 千円	66,418 千円	72,304 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
特別支援学級補助員の配置人数	22人	22人	22人	-
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市内全小学校の特別支援学級に特別支援学級補助員を配置し、担任教員の学級運営を補助することにより、教員の負担軽減および対象児童へのきめ細やかな指導を行うことができました。
課題	特別支援学級に在籍する児童の障害の種類は様々であり、担任のみでは個別の対応が困難な場合があります。
方 向 性	よりきめ細かい対応を行うため、各小学校への配置については、学校ごとの状況に応じた配置をすることが望ましいと考えます。引き続き、支援が必要な児童に、適切な特別支援学級補助員の配置をしていきます。
目標・施策に対する評価	特別支援教育を推進させるため、市内全小学校の特別支援学級に特別支援学級補助員を配置し、障害のある児童に対して適切な支援を行うことができました。その結果、多様なニーズに対応した教育の推進を図ることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	指導課
施策	施策1 特別支援教育の推進		

事業名	特別支援教育推進事業	事業番号	30
-----	------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	特別支援教育研修会では、特別支援教育担当者の資質向上を目的に、各小・中学校で適切な指導、必要な支援、授業改善が図られるようにします。
主な対象(数)	特別支援教育コーディネーター 特別支援学級及び通級指導教室担当教諭

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	239 千円	212 千円	231 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
特別支援教育研修会	年4回	年5回	年5回	特別支援教育に関する研修会の実施回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	研修の実施を通して、特別支援教育コーディネーターを担当する教員の資質・能力の向上につながることができました。具体的には、校内委員会や校内研修の企画・運営を推進する力、関係機関や他校との連絡・調整を行う力、さらには保護者からの相談に適切に対応する力の向上が図られました。あわせて、担当教諭の学級経営力や指導力についても高めることができ、学校全体としての支援体制の充実に寄りました。
課題	新たに担当する教員が増加している状況の中で、特別支援教育コーディネーターをはじめ、特別支援学級および通級指導教室を担当する教諭の資質・能力や専門性の向上が、重要な課題となっています。
今後の方向性	特別支援教育コーディネーターや特別支援学級、通級指導教室を担当する教諭の育成および専門性の向上、さらに校内におけるインクルーシブ教育システムの構築と推進を図るため、県立特別支援学校の教員や県立総合教育センターの所員等を講師として招へいし、計画的に研修を実施します。 また、特別支援学校教諭免許状の取得を促進することにより、教員の専門性の一層の向上に努めます。
目標・施策に対する評価	第3期上尾市教育振興基本計画「目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進」に位置付けられており、特別支援教育コーディネーター研修や、特別支援学級および通級指導教室担当者研修の実施を通して、参加者の資質・能力の向上が図られています。これにより、各学校における特別支援教育に関する校内研修の充実や、校内におけるインクルーシブ教育システムの構築および推進に向けた取組が、さらに進展していくことが期待されます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学務課
施策	施策1 特別支援教育の推進		

事業名	小・中学校特別支援教育就学奨励事業	事業番号	31
-----	-------------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市立小・中学校に就学する一定の障害の程度に該当する児童生徒の保護者または市立小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ就学のための経費の一部を支給します。
主な対象(数)	市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	10,603 千円	10,236 千円	9,788 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
支給者数	308人	315人	-	特別支援教育奨励費を支給した児童生徒数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	特別支援教育就学奨励費を支給することにより、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、金銭的負担を軽減することができました。
課題	小・中学校特別支援教育就学奨励事業の支給項目のうち、オンライン通信費については、利用状況が年々増加傾向にあるが、一層の家庭学習の利用を図っていく必要があります。
方向性の今後の	特別支援学級に通う児童生徒は増加傾向にあり、当該事業は該当児童の保護者の経済的負担の軽減には必要な事業である。引き続き、適正な支援を行っていきます。
目標・施策に対する評価	特別支援学級に通学する児童生徒の金銭的支援は、当該学級に通学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減につながる重要な事業と考えており、施策の効果は大きいと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	指導課
施策	施策1 特別支援教育の推進		

事業名	特別支援教育マイスター派遣事業	事業番号	32
-----	-----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	特別支援学級等設置校（市内小・中学校33校）に上尾市特別支援教育マイスターを派遣し、特別支援学級または通級指導教室担当教員への指導・支援を行います。
主な対象(数)	市立小・中学校の特別支援学級または通級指導担当教員

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,230 千円	1,212 千円	1,257 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
特別支援教育マイスター派遣	125回	129回	130回	3名の特別支援教育マイスターを学校へ派遣した回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	特別支援学級担任に対して、特別支援教育マイスターが日常的かつ具体的な指導を行ったことにより、教員の学級経営力や指導力などの資質・能力の向上につなげることができました。 また、その指導内容を校内で共有する取組を行う学校も見られ、学校全体として特別支援教育に対する理解の深化を図ることができました。
課題	教員の特別支援教育に対する理解を一層深めることや、学級経営力および指導力のさらなる向上が、引き続き重要な課題となっています。
今後の方向性	今後も特別支援教育マイスターを各校へ派遣し、具体的かつ継続的な指導・支援を行うことで、教員のさらなる資質・能力の向上を図ります。 また、校内における特別支援教育への理解を一層深めるため、研修内容や実践事例の共有を進め、学校全体での共通理解の促進に努めます。
目標・施策に対する評価	第3期上尾市教育振興基本計画「目標Ⅴ多様なニーズに対応した教育の推進」に位置づけられており、新担当者や経験の浅い教員が増えている中、特別支援教育マイスターによる日常的かつ具体的な指導は、教員の資質・能力の向上に大きな効果があります。また、事業を継続していくことで、児童生徒に対する理解の深まりや小・中学校の円滑な接続についても期待できます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	教育センター
施策	施策2 学校教育相談の充実		

事業名	教育相談事業	事業番号	33
-----	--------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	児童生徒の健やかな成長のため、面接、電話、訪問、電子メール、オンラインなどによる教育相談を行い、子供の自立を支援します。
主な対象(数)	市内在住の児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	237 千円	628 千円	244 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教育センターの年間教育相談件数	554件	460件	-	教育相談案件数 (実人数+電話相談(匿名))
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教育センターの年間延べ教育相談件数	9,547回	8,311回	-	教育相談延べ回数 (面接相談+電話相談+メール相談)
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教育相談終結率	61%	67%	70%	終結件数/実相談件数

4、当該事業の評価

成果	来所、訪問、電話、メール、オンラインといった様々な形態で、相談内容に応じて個別に助言したり、適切な関係福祉機関を紹介したりしながら、年間延べ8,311回の相談対応し、そのうち約67%が主訴の解決に至りました。また、和室や衝立を利用して相談スペース不足の解消を図りました。
課題	相談内容が、複雑化、長期化しているケースが多く、1年以内に相談が終結することは、難しいケースも多くあります。相談内容が複雑化・長期化している現状から、受け入れる教育センター職員の専門性の向上と関係機関との連携が必要です。
今後の方向性	相談内容に応じて効果的な形態での丁寧な相談対応を行います。特に、長期化しているケースについては、有効な支援について多面的に協議していきます。また、センター職員の専門性の向上を目指し、講師による講義や事例検討などの研修会を開催します。
目標・施策に対する評価	近年、教育相談件数は年間のべ約1万件前後となる状況ですが、それぞれのケースに丁寧に対応するとともに、学校、保護者とも連携することができ、子供の社会的な自立に貢献しているといえます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	教育総務課
施策	施策3 就学支援の充実		

事業名	入学準備金・奨学金貸付事業	事業番号	34
-----	---------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	高等学校や大学等への進学を有する者で経済的な理由により修学が困難な者やその保護者に入学準備金又は奨学金の貸付をし、進学の支援を行います。また、大学等を卒業し奨学金を返済する若年層の負担軽減を図るため、奨学金利子支援補助金を交付します。
主な対象(数)	高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程）や大学、短期大学、専修学校（専門課程）に進学予定の人、及びその保護者。当市在住で奨学金を返還している人。

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,601 千円	4,165 千円	6,084 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
入学準備金貸付実績	4人/1,600千円	7人/3,000千円	-	貸付人数/貸付金額
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
奨学金貸付実績 (新規)	0人/0円	1人/240千円	-	貸付人数/貸付金額
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
奨学金利子支援補助金支給者数	-	81人/924千円	-	利用人数/支給合計額

4、当該事業の評価

成果	経済的に困難な事情を有する進学意欲を持つ生徒に対し、入学準備金として7名（300万円）の貸付を行うとともに、奨学金においては1名への新規貸付を実施しました。また、令和7年度より新規実施している奨学金利子支援補助金については、81名（92万円）への交付を行い、奨学金返還の経済的負担の軽減を図りました。なお、ホームページや窓口等を通じ、独立行政法人日本学生支援機構や埼玉県など、他の貸付・支援制度に関する情報周知も継続して行いました。
課題	当市の実施している奨学金貸付制度は、令和7年度は1名の利用があったものの、近年利用者が少ない状況が続いています。奨学金の貸付を受けた利用者の多くが、卒業後の奨学金の返済について、経済的な負担や不安を感じていることが引き続き課題となっています。また、保護者又は学生自身が滞納することがないように、納付状況の把握及び適切な納付相談等を行う必要性があります。
方今向後の	奨学金の無利子貸付制度の利用者が少ない状況が続いている一方で、日本学生支援機構などの奨学金を利用する学生が多く、その返済が経済的に負担になっています。そこで、より多くの対象者が利用できる制度として令和7年度から開始した「奨学金利子支援補助金」の交付事業の継続及び周知による利用者拡大を図ります。また、近年利用が低迷している奨学金制度の在り方について検討を進めます。
目標・施策に対する評価	国・県などの制度拡充により授業料の支援や免除・減免、給付型の奨学金制度など経済的な支援は拡大しています。そのような状況においても、現在実施している入学準備金の貸付制度は、毎年一定数の利用があります。令和7年度においても同様に利用があり、市民にとって身近な制度として進学意欲がありながら経済的に困難な生徒やその保護者に活用されました。また、令和7年度から開始した奨学金利子支援補助金は81名（92万円）に活用され、幅広い対象者を支援することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学務課
施策	施策3 就学支援の充実		

事業名	小・中学校就学援助費補助事業	事業番号	35
-----	----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学に必要な学用品費、学校給食費、新入学児童学用品費、修学旅行費等の一部を支給します。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒の保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	53,276 千円	58,010 千円	73,141 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
認定者数 (要保護・準要保護)	1,282人	1,202人	-	就学援助の認定者数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、学用品費、校外活動・修学旅行費、学校給食費など学校生活に必要な費用の援助を行いました。
課題	小・中学校就学援助費補助事業の申請方法について、申請方法の拡充についての検討を行い、より申請者の利便性を図る必要があります。
方 向 今 後 性 の	本事業は、経済的な事由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給することにより、経済的負担軽減・就学機会の創設に寄与している。引き続き、適正な支援を行っていきます。
目 標 対 する 評 価 に	就学援助費による金銭的支援は、金銭的に困窮する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減につながる重要な事業と考えており、施策の効果は大きいと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学校保健課
施策	施策3 就学支援の充実		

事業名	学校給食費支援事業	事業番号	36
-----	-----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	【学校給食費減免】市内に住所を有し、小・中学校に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者に対し、第3子以降の学校給食費を減免します。 【準要保護児童生徒給食援助費】教育委員会が要保護に準じて生活に困窮していると認めた、市内の小・中学校に在籍している児童生徒の保護者に対し、学校給食費の援助を行います。
主な対象(数)	【学校給食費減免】市内に住所を有し、小・中学校に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者 【準要保護児童生徒給食援助費】教育委員会が要保護に準じて生活に困窮していると認めた、市内小・中学校に在籍している児童生徒の保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	77,266 千円	44,131 千円	14,013 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
【学校給食費減免】申請率	94.74%	98.10%	99.00%	減免対象見込者のうち申請者の率
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
【準要保護児童生徒給食援助費】対象者数と援助額	1,249名 54,875,331円	1,105名 44,131,340円	550名 16,032,000円	援助の対象者数と援助額
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	【学校給食費減免】減免対象見込の保護者に対し、申請書の配布を行いました。未申請のものに対しては、申請勧奨を行い、申請率の向上に努めました。 【準要保護児童生徒給食援助費】就学援助費の認定結果を受け、各学校からの報告に基づき、適正な援助を行いました。
課題	【学校給食費減免】国が令和8年度から小学校給食費の抜本的な負担軽減を行うため、対象者が減少する可能性があります。
方今向後性の	【学校給食費減免】小学校給食費の抜本的な負担軽減が実施される場合は、保護者の経済的支援のあり方として制度の見直しを行います。
策目標に對する評価	【学校給食費減免】【準要保護児童生徒給食援助費】対象児童・生徒の給食費を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減しています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学校保健課
施策	施策3 就学支援の充実		

事業名	要保護児童生徒医療費援助事業	事業番号	37
-----	----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市内小・中学校に在籍している要保護の児童生徒の保護者に対し、学校病(感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病)についての医療費を援助します。
主な対象(数)	要保護の児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	11 千円	20 千円	111 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
要保護児童生徒の受診率	13.33%	11.1%	17%	医療券使用数/診療科別勧告数(要保護)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	医療券を交付し保護者に受診を促すことにより、要保護児童生徒の疾病の早期発見や適切な受診勧奨をすることができました。また保護者の経済的な負担を軽減することができました。
課題	交付した医療券の半数以上が未使用となっており、保護者に対し複数回にわたり受診を促していますが、治療が遅れるなど、対象児童生徒の疾病の健康保持への懸念が生じています。医療券交付者に対して制度説明(有効期限等)の充実などを学校と協力し、受診率の向上に努めます。
方 向 性	学校保健安全法の規定に基づき、児童生徒の健康保持・増進を目的とした援助を継続して実施します。健康診断の実施や必要な医療的援助を提供する仕組みを維持し、適切なサポートを行います。
目標・施策に対する評価	医療券の交付により、要保護の児童生徒に対し就学支援をすることができました。この制度を通じて、経済的に困難な状況にある子どもたちが必要な医療を受ける機会を確保することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	指導課
施策	施策4 グローバル化に対応する教育の推進		

事業名	英語教育推進事業	事業番号	38
-----	----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	小学校では、特別の教育課程の編成により、1、2年生で英語活動を実施しています。小学校1、2年生の英語活動、3、4年生の外国語活動及び5、6年生の外国語科の授業を通して、外国語に慣れ親しみ、外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。中学校では、外国語科の授業を通して、英語力の向上、コミュニケーション能力の育成を図っています。全小・中学校にALTを配置し、英語に係る体験的学習や国際理解教育を推進しています。また、中学校では、生徒が、英語に対する興味・関心を高め、英語力の向上を図るために、英語弁論大会を実施します。
主な対象(数)	市立小・中学校の児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	161,615 千円	161,694 千円	166,476 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
小・中学校 ALT配置人数	36人	36人	36人	全小・中学校にALTを配置
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
授業準備を除く、 ALT活用率（小学校）	85%	90%	100%	授業、学校行事への参加、担当教員との打合せ、授業準備等を活用率として計算
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	授業における言語活動の充実を目指し、英語の授業を担当する教職員対象の研修を計画、実施しました。 ALTを活用した授業外の活動も各校が積極的に行えるように条件を付し、ALT派遣委託業務のプロポーザル方式による長期継続契約を締結することができました。 中学校の英語弁論大会を計画通り実施できました。
課題	ALTの活用状況について、学校差が見られています。 中学校では、高校入試の際の英語の点数に対する生徒の意識が高く、コミュニケーション能力の向上や授業内の言語活動に対する意識が比較的低い傾向があります。
方向性の今後の	小中学校ともに、言語活動の充実を図る教職員研修を継続するとともに、ALT派遣委託業者とも連携を図り、授業内外でコミュニケーション活動をさらに増やしていけるようにします。 各校のALT活用状況に差がでないよう、小中合同研修会を通して方策を周知していきます。 中学校英語弁論大会を継続して実施します。
目標に対する評価	英語の授業を担当する小中学校の教職員を対象にした言語活動の充実を図る研修を実施し、小中一貫教育9年間の英語教育の推進に向けて目標を達成できました。 ALTの活用率は90%を超えており、目標を達成できました。 計画通り、中学校の英語弁論大会を実施することができ、目標を達成できました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	学務課
施策	施策4 グローバル化に対応する教育の推進		

事業名	日本語指導職員派遣事業	事業番号	39
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	日本語が理解できない児童生徒に対し、日本語習得の指導や支援を行うため、在籍する小・中学校に日本語指導職員を配置します。
主な対象(数)	市立小・中学校に在籍する日本語が理解できない児童生徒

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	7,340 千円	10,672 千円	13,250 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
日本語指導職員の配置状況	100%	100%	100%	対象児童生徒数/対応した日本語指導職員の人数 ※日本語指導職員が各校を兼務し、100%配置を実現している。
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	日本語を十分理解できない児童生徒が在籍している場合（対象児童数R5：56人、R6：75人、R7：88人）、学校からの要請により、日本語指導職員を派遣し、授業への参加、挨拶や日常会話等の生活に必要な日本語の指導を行い、日本語の支援を行いました。
課題	日本語が理解できない児童生徒が増加傾向にあります。また、母国語も多様化しており、対応できる日本語指導職員の確保が課題となっています。また、年度途中に外国から転入するケースもあり、年度途中からの配置に苦慮しています。
今後の方針	引き続き、支援が必要な児童生徒に対して、日本語指導職員を適切に配置していきます。 また、日本語指導を必要とする児童生徒が増加傾向にあるため、日本語指導職員の更なる増員も検討していきます。
目標に対する評価	児童・生徒の実態に応じた日本語の指導により、日常会話や授業の理解度を向上させることができています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進	担当	指導課
施策	施策4 グローバル化に対応する教育の推進		

事業名	中学生海外派遣研修事業	事業番号	40
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	中学生に豊かな国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材として必要な能力や態度を育成する教育活動の一環として、市立中学校に在籍する生徒を対象に、11日間の海外派遣研修を実施します。上尾市中学生海外派遣研修事業の派遣先である、オーストラリアをはじめとする海外の中高生とのオンライン交流を実施します。
主な対象(数)	海外派遣研修：市立中学校第3学年生徒各校2名計22名 オンライン交流：市立中学校11校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	21,084 千円	18,505 千円	24,029 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
派遣生徒数	22名	22名	22名	原則、各中学校から2名ずつ、計22名の派遣
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
オンライン交流の回数	22回	12回	12回	全中学校で2回の実施
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	一部事前研修の内容を見直し、英語研修を増やすなど、質の高い研修を実施できました。現地研修では積極的なコミュニケーション活動によって、派遣生は豊かな国際感覚を養うとともに、上尾市を代表する派遣団として責務を果たすことができました。また、事後研修として全校で帰国報告会を実施しました。
課題	性別による応募者数に差があり、派遣生の抽選倍率に差が生じている為、男女1名の募集条件を見直す必要があります。オンライン交流については、現地の学校の都合や機器の接続の課題があり、ロッキンバレーとの交流の継続は難しい状況にあります。
方向性の今後の	現地のホームステイ受入調整先と検討の上、現在男女1名の募集条件を見直し、各校2名とします。オンライン交流については、ロッキンバレーとの交流ではなく、今後もALT派遣委託業者を介して、オーストラリアの学校や日本国内の外国人講師と交流ができるようにします。
目標・施策に対する評価	計画通り、市内各中学校2名、合計22名をオーストラリアロッキンバレーに派遣し、海外派遣研修を実施できました。事前研修では、英語研修を2回から4回に増やしたことで、派遣生たちは現地の人々とより積極的に交流できるようになりました。海外での生活体験を通して豊かな国際感覚を養うとともに、ロッキンバレー市長に自分の意思を英語で伝える等、上尾市を代表する親善大使としての役割を果たすという目標を達成できました。オンライン交流については、学校の希望に合わせALT派遣業者が仲介を行い、現地校の生徒やALTなどのネイティブスピーカーと交流を行うことができました。

第三者評価者からの意見・提言

目標Ⅴ多様なニーズに対応した教育の推進

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学校保健課
施策	施策1 教職員の資質・能力の向上		

事業名	教職員健康管理事業	事業番号	41
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	教職員等の健康を保持するため、定期健康診断や胃検診、B型肝炎抗体検査、医師の面接指導、ストレスチェックを実施します。
主な対象(数)	市立小・中学校の教職員（市費・県費）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	17,095 千円	17,393 千円	18,518 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
高ストレス者に占める医師の面接利用率	1.00%	1.68%	2%	医師による面接利用者数／高ストレス者数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
面接利用者	1人	2人	3人	医師による面接利用者数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	・定期健康診断や胃検診は、学校保健安全法に基づいて実施し、疾病の予防や早期発見、早期治療につなげることで、健康の保持・増進を図ることができました。 ・医師の面接指導は、労働安全衛生法に基づいて実施し、過重労働による健康不安の申出に対し、健康診断とは別に医師の指導助言を受けられる環境を整えました。 ・B型肝炎抗体検査は、養護教諭を対象に実施することで、感染防止につなげています。 ・ストレスチェックは、ストレスの程度を把握し、自身のストレスへの気づきを促すことができました。また、校長会で管理者向けの研修を実施し、職場改善につなげました。
課題	ストレスチェックで高ストレス者の面接指導の受診率が伸び悩んでいます。教職員の働き方改革が進んでいる中で、教職員のメンタルヘルス不調を未然に防止することや適切な対処によって心の健康を守ることが極めて重要となっています。今後も効果的な実施方法を検討しながら継続していく必要があります。また教職員向けのストレスチェックの普及や気軽な相談を行えるよう情報誌等を学校に周知をおこない、相談しやすい体制づくりに努めていきます。
方今向後性の	教職員の健康を保持するため、定期健康診断や胃検診、B型肝炎抗体検査をはじめとした必要な検査を定期的実施するとともに、医師による面接指導やストレスチェックを継続的に実施していきます。また、それらの取り組みを基に健康状態の把握を徹底し、適切な健康管理や予防措置を講じることで、教職員が安心して職務に従事できる環境づくりを推進します。さらに心身の健康に関する相談体制を充実させ、働き方の改善にも努めていきます。
に目対標価す・る施評策	市教育委員会では、教職員の心身の状態を的確に把握するため、定期的な健康診断を実施し、必要に応じて面談などを行いました。また、学校医及び産業医から専門的な助言を受けることで、各教職員に合った適切な対応策を講じることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学務課
施策	施策2 学校経営の改善・充実		

事業名	小・中学校業務改善支援事業	事業番号	42
-----	---------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	教員がより一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的とし、教員の業務支援を行う補助員の配置、「統合型校務支援システム」の整備による指導要録と通知表の連動等により、学校教育活動の一層の充実を図ります。
主な対象(数)	市立小・中学校に在籍する教職員

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	37,254 千円	38,876 千円	43,379 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
スクールサポートスタッフ配置人数	40人	39人	39人	スクールサポートスタッフ配置人数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの小・中学校全校への配置や「統合型校務支援システム」の活用により、教員がより一層、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備します。
課題	スクール・サポート・スタッフの配置や校務支援システムの活用等により、教職員の時間外在校等時間は減少してきています。しかし、目標である年間360時間には到達していないため、より減少に向けた取り組みが必要です。
方 向 後 性	引き続き、スクール・サポート・スタッフの全校への配置や校務支援システムの活用などにより、教職員の業務改善をはかり、教職員の時間外在校等時間の削減を図っていきます。
目標・施策に対する評価	本事業は、教職員の時間外在校等時間の削減に貢献しており、引き続き業務を継続することにより教職員の業務改善さらには質の高い教育の実現を図るために必要と考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学務課
施策	施策2 学校経営の改善・充実		

事業名	スクールロイヤー活用事業	事業番号	43
-----	--------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	学校の管理運営に係る諸問題に対して、法的観点を踏まえた早期対応を行い、児童生徒が安心して通える学校づくりに寄与するために、スクールロイヤーを活用します。
主な対象(数)	市立小・中学校の児童生徒、及びその保護者や教職員、市教育委員会指導主事等

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	991 千円	1,323 千円	1,456 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
スクールロイヤー相談案件件数	9件	15件	-	学校及び教育委員会がスクールロイヤーに相談をした案件数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学校の管理運営に係る諸問題に対して、スクールロイヤーによる助言や研修の受講等により法的観点を踏まえた早期対応を行います。また、いじめ防止教室を実施するなどにより、児童生徒が安心して通える学校づくりを実現します。
課題	学校におけるいじめ問題などの課題が多様化・困難化しており、解決に向けて時間がかかっています。また、同一事案が長期化し、解決のために、学校や教育委員会が複数回相談するケースがあり、時間を要しています。
方向性の後	引き続き、事案に対する助言、法律的な解決手法を学ぶ研修、いじめ防止授業等を通じて、児童生徒が安全安心な学校生活を遅れるよう、スクールロイヤーを活用していきます。
目標・施策に対する評価	スクールロイヤーによる研修や実際の相談事例等を通じて、法律の見解の重要性や手法についての意識付けがされてきています。また、いじめ防止教室（原則、小5対象）を実施したことにより、児童のいじめの予防に対する意識の向上が見られます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学務課
施策	施策2 学校経営の改善・充実		

事業名	通学区域検討事業	事業番号	44
-----	----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	小・中学校の通学区域の編成に関し基本的かつ総合的に調査審議するための「上尾市立小・中学校通学区域審議会」を運営します。
主な対象(数)	市内通学区域

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	57 千円	50 千円	228 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾立小・中学校通学区域審議会開催回数	1回	1回	4回	上尾立小・中学校通学区域審議会開催回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	通学区域審議会において、通学区域の現状に関する事項や平方北小学校再編検討協議会の進捗状況などを説明し、各審議委員への情報共有を図ることができました。
課題	上尾市学校施設更新計画の進捗にあわせて、上尾市小中学校通学区域審議会をはじめとした通学区域の再編の検討・協議をすすめていくが、より理解の得られる通学区域を設定することが必要となります。
方向性の今後の	上尾市学校施設更新計画の進捗状況などにより、必要に応じた新たな通学区域の設定や上尾市立小・中学校通学区域審議会を開催します。
目標・施策に対する評価	学校施設更新計画に伴う新たな通学区域の設定が令和8年度から始まるなど、今後の新たな通学区域の設定をする際に必要な施策であると考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	指導課
施策	施策2 学校経営の改善・充実		

事業名	コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	45
-----	-----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	学校・家庭・地域が一体となって、より良い教育の実現に取り組むために、地域のニーズを的確に学校運営に反映させるよう保護者や地域の方々が、学校運営協議会を通して学校運営に参加する仕組みの推進を目指しています。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,583 千円	1,631 千円	1,821 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市コミュニティ・スクール研修会	年1回	年1回	年1回	学校関係者、地域関係者が参加する研修会の実施回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
各小・中学校学校運営協議会合計開催回数	169回	169回	170回	各小・中学校の学校運営協議会の合計の開催回数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学校・家庭・地域が連携し、より良い教育活動の実現に向けて、地域の課題や教育的ニーズを的確に把握し、それらを学校運営に反映させる取組を進めることができました。あわせて、保護者や地域の方々が学校運営協議会を通して学校運営に参画する仕組みを推進し、開かれた学校づくりの充実を図ることができました。
課題	学校と地域が目指す児童生徒像の共有にとどまっている学校も見られました。今後は、その共有を踏まえ、学校と地域が連携・協働した取組を一層推進していく必要があります。 また、小中一貫教育の視点に立ち、中学校段階で育成を目指す児童生徒像を関係校で共有するとともに、その実現に向けた具体的な取組を進めていくことが重要な課題となっています。
方向性の後	学校・家庭・地域が一体となり、より良い教育活動の実現を目指して、引き続きコミュニティ・スクール研修会を実施していきます。研修会においては、各学校の取組状況について情報共有を図るとともに、中学校区における育てたい児童生徒像について共通理解を深めながら、各学校の学校運営協議会のさらなる充実に努めます。
目標・施策に対する評価	第3期上尾市教育振興基本計画「目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実」および「目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上」に位置付けられており、学校・家庭・地域が連携しながら、中学校区における育てたい児童生徒像を共有し、その実現に向けた取組を推進していくことが求められています。あわせて、目指すべき教育のビジョンについても共通理解を図り、目標達成に向けた取組を着実に進めていくことが期待されます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	教育総務課
施策	施策3 学校環境の整備・充実		

事業名	小・中学校管理運営事業	事業番号	46
-----	-------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	子供たちや教職員が一日の大半を過ごす学習・生活の場である学校を、安心・安全な教育環境を提供するため、学校運営に必要な消耗品の購入や管理備品の整備のほか、学校施設の維持管理、必要な修繕や工事を実施します。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	944,246 千円	1,205,795 千円	1,732,431 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
新JIS規格の児童生徒用机	-	22.20%	44.40%	小・中9学年のうち新JIS規格に準拠した机への更新が済んだ学年の割合
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	電気設備や機械設備のメンテナンスを滞りなく進め、適切な維持管理ができました。また、照明器具のLED化や中学校特別教室へのエアコン設置をするとともに、新JIS規格に準拠した児童生徒用机を小学5・6年生に配備し、新しい時代の学びにふさわしい教育環境の整備を進めることができました。
課題	国際情勢で資材の不足が生じており、雨漏り修繕に必要な物資に影響が出ています。また、樹木の整備や老朽化してきた設備・備品について計画的な更新を検討する必要があります。
方 向 性	引き続き、特別教室へのエアコンの整備やトイレの洋式化、児童生徒用机の更新等を進めるとともに、老朽化している校舎等の修繕に順次対応し、児童生徒が安全に過ごすことができる環境の整備を進めていきます。
目標・施策に対する評価	安心安全な環境と、エアコンや新JIS規格に準拠した机の整備により、より学習に適した環境づくりを進めることができます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	新しい学校づくり推進室
施策	施策3 学校環境の整備・充実		

事業名	学校施設更新計画推進事業	事業番号	47
-----	--------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	上尾市学校施設更新計画実施計画に基づき、建物更新に係る設計、学校再編の検討対象校に係る協議・検討を進めています。 建物更新に係る設計は、令和6年度から継続実施の上平中学校、太平中学校及び平方東小学校に加えて、令和7年度からは西中学校において、学校全体の配置計画等を検討する基本設計と体育館の実施設設計に取組みます。 学校再編の検討対象校に係る協議・検討は、平方北小学校再編検討協議会の協議を継続します。
主な対象(数)	建物更新：中学校3校、小学校1校 学校再編：小学校1校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	90,721 千円	288,471 千円	1,746,812 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
着手した学校数	3校	4校	6校	施設更新を始めた学校数（累積）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	上平中学校、太平中学校・平方東小学校では、関係者（児童生徒、教職員、学校運営協議会及び避難所運営会議）からの意見聴取を経て、校舎等配置計画を決定しました。また、西中学校校舎更新設計では、今後の施設整備を進めるにあたり、現状の学校施設の課題や利便性に関する意見聴取を関係者に対し、アンケート調査等の手法を用いて実施しました。 平方北小学校再編検討協議会については、令和7年は5回（令和6年度：4回）の会議を開催し、協議報告書を取りまとめ、令和8年3月に同協議会から報告書が教育委員会へ提出されました。
課題	校舎等の耐用年数に鑑み、建替え工事中および工事後の学校運営等に考慮した計画とするため、建替え手順の検証が必要となります。また、校舎等の配置計画が決定した学校については、建替え工事ごとの詳細な調整の必要があります。 平方北小学校の再編検討については、協議報告書の協議結果等を踏まえ、再編に向けて詳細な検討が必要となります。
今後の方向性	配置計画を決定した上平中学校、太平中学校及び平方東小学校については、建替えに必要な手続きを進めます。また、配置計画が決定していない西中学校は意見聴取を踏まえ、学校全体の配置計画や間取り等を検討する基本設計を完了させ、建替えを要する体育館の実施設設計を進めます。 平方北小学校の再編検討については、教職員、保護者や地域住民への説明会の開催、上尾市立小・中学校通学区域審議会に諮るなど、引き続き、再編検討に取組みます。
目標・施策に対する評価	上尾市学校施設更新計画実施計画に基づき、各学校の設計業務に着手することができました。現在、学校関係者等への意見聴取を行いながら建物更新に係る設計を進めています。 平方北小学校再編検討協議会では、子供たちの学びに望ましい学校規模へ向けた2年間の検討協議が終了し、協議報告書が策定されました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	新しい学校づくり推進室・指導課
施策	施策3 学校環境の整備・充実		

事業名	水泳指導委託事業	事業番号	48
-----	----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	「今後の上尾市立学校の水泳授業の基本方針」に基づき、地域の実情に鑑み、民間プールや公営プール、学校間の共有プールの活用のほか、インストラクターの学校派遣などの方策により、全ての市立小・中学校において、質の高い水泳授業を推進します。令和7年度は、令和6年度の8校から12校に実施校を拡大します。
主な対象(数)	小学校8校、中学校4校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	55,532 千円	81,915 千円	111,035 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
児童生徒アンケートの「泳ぎ方のポイントが分かった」の割合	94.2%	92.6%	95%	市内の民間スイミングスクール導入校のみ対象 ※水泳指導に関する指標に変更
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教員アンケートの「計画的に授業が実施できた」の割合	96.9%	98.5%	100.0%	市内の民間スイミングスクール導入校のみ対象
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	民間スイミングスクールを活用した水泳授業は、これまでと同様に高い評価を得ています。 計画的に質の高い水泳授業の推進を図ることを目的に、令和8年3月に「上尾市立学校の水泳授業の実施計画」を策定しました。
課題	「上尾市立学校の水泳授業の実施計画」に基づく、民間スイミングスクールを活用した水泳授業実施校を拡大し、計画的に質の高い水泳授業の推進を図るため、民間事業者等と調整を図る必要があります。
今後の方向性	「上尾市立学校の水泳授業の実施計画」に基づき、民間スイミングスクールを活用した水泳授業実施校を拡大し、計画的に質の高い水泳授業の推進を図ります。
目標・施策に対する評価	昨年度の8校から実施校を12校に拡大し、小・中学校12校（小学校8校、中学校4校）が民間スイミングスクール5か所を活用した質の高い水泳授業を実施し、良好な成果が確認できました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	教育総務課
施策	施策3 学校環境の整備・充実		

事業名	小・中学校図書整備事業	事業番号	49
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	子供たちの自主的・自発的な学習活動を支援するとともに、豊かな感性や情操をはぐくむ読書活動を推進する役割を担う学校図書館図書の整備を推進します。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	23,793 千円	25,534 千円	28,151 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校図書館図書標準に対する充足率【小学校】	103.5%	103.0%	103.0%	-
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校図書館図書標準に対する充足率【中学校】	102.2%	102.3%	102.3%	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	小学校の学校図書館図書について、令和7年度は、7,047冊増え、7,056冊を処分し、現有冊数は229,033冊、学校図書館図書標準に対する充足率は、小学校全体で103.0%となりました。 中学校は、5,013冊増え、5,912冊を処分し、現有冊数は136,890冊、充足率は、中学校全体で102.3%となりました。
課題	各校で蔵書を増やすことも大切ですが、古い資料に基づく蔵書等を随時整理していくことが必要です。
方向性の今後の	蔵書の内容や資料が古くなっているものは積極的に更新し、児童生徒への知識として有効となることを優先して進めていきます。
目標・施策に対する評価	ニーズに合わせた図書整備により、児童生徒の読書活動や調べ活動等に活用できる環境を提供できています。処分する本については、学級文庫に移行するなど、児童生徒が図書と触れ合い、豊かな心の育成に繋げる環境整備に努めました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	教育総務課
施策	施策3 学校環境の整備・充実		

事業名	小・中学校教育教材整備事業	事業番号	50
-----	---------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	授業等で使用する学習教材（大型モニター、ホワイトボード、オルガン、グランドピアノ、ミシン等）の整備・充実を図ります。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	28,782 千円	30,079 千円	37,157 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
グランドピアノ入替台数	3台	3台	3台	計画に則り、程度の悪いものから順に更新した台数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	教材整備指針に基づき、体育のマットやネット、顕微鏡など必要な教育教材を整備更新しました。また、学級数の増加に伴う教室整備として大型モニターやタブレット用の充電保管庫等を整備しました。また、グランドピアノやミシンについては計画どおりに更新を行いました。
課題	グランドピアノやミシンなどは、古いままどうも使えず適切な指導の妨げとなるため、計画的に更新していくことが求められているとともに、使えるものについては学校間での調整が必要です。また学級数の変動による教室整備は多くの備品が必要となるため児童生徒数の増減を踏まえた予算措置も必要となっています。
方 向 性	教材整備指針に基づき、必要な教育教材の整備更新を図るとともに、大型教材（グランドピアノやミシン等）については、計画的な更新に取り組むとともに、大型モニターなどについても更新計画作成の検討を進めていきます。
目標・施策に対する評価	教育教材の整備更新により、教員と児童生徒が授業に集中できる環境となり、質の高い学校教育につながっていると評価します。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学校保健課
施策	施策4 学校安全の推進		

事業名	児童生徒安全推進事業	事業番号	51
-----	------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	学校管理下における児童生徒の安全・安心を確保するため、AEDの配備や教職員向けの応急手当普及員講習会などを行います。また、学校管理下における災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対し、災害共済給付を支給します。
主な対象(数)	市立小・中学校の児童生徒、教職員

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	19,542 千円	19,331 千円	20,126 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
応急手当普及員 総資格者数	135人	129人	135人	応急手当普及員の資格をもつ 教職員の数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成 果	各学校で、教職員を対象に毎年開催する心肺蘇生法研修の講師を務める教職員に、応急手当普及員の資格を取得するための新規講習会と更新講習会を開催しました。
課 題	応急手当普及員の資格を持つ教職員は概ね各校3～4人のため、人事異動により、学校での資格保有者数に偏りが出ることがあります。そのため、更なる普及員の育成が必要です。また資格保有者の世代交代も近年増加傾向にあり、新規講習の受講可能数と希望者数、学校ごとの保有者数のバランスを注視していく必要があります。
方向性 今後の	新規講習会を実施し、新しい資格保有者を継続的に増やします。 熱中症やアナフィラキシーを含めた応急手当の方法を学ぶことで、こども達の安全に寄与することができます。また消防と協力し、中学生向けの普及講習等学を通じ、学校安全教育の普及をおこないます。
目標・施策に 対する評価	応急手当指導員資格取得のための研修会実施は、児童生徒の安心安全な学校づくりを大きく前進させる取組になっています。 また、各学校における全教職員参加の心肺蘇生法研修を実施し、学校生活において事故などが発生した際の対応に備えることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学校保健課
施策	施策4 学校安全の推進		

事業名	学校安全パトロール事業	事業番号	52
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	児童生徒及び地域の防犯に資するため、学校・PTA及び地域が連携し、中学校区を単位として青色回転灯付パトロールカーにより巡回します。
主な対象(数)	市立小・中学校児童生徒、地域ボランティア

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	3,490 千円	3,500 千円	3,566 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
青色回転灯実施者証保有者数	4,723人	4,805人	4,850人	青色回転灯実施者証を保有する者の数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	令和7年度においては、11台の学校安全パトロールカーを運行し、合計1,283回のパトロールを実施しました。ひと月あたりのパトロール回数は1台月平均9.7回、1回平均の運行距離は9.9kmでした。また、学校安全パトロールカー講習会を2回実施し、上尾警察による最新の犯罪動向やパトロールの効果的な方法について実施者への講義をおこないました。
課題	年々、活動員の高齢化及びPTA等の解散等に伴い参加人数が減少傾向にあり、これによってパトロールの実施回数が減少しています。参加者の人員の確保が課題となっています。 また、学校安全パトロールへの参加の呼びかけや情報発信、参加しやすい体制への見直しなど検討していきます。
方向性の	児童生徒の安全確保に効果を上げ、地域の方々や各団体の協力を継続していただくことにより、地域防犯の意識向上にもつながっていることから、引き続き実施していきます。課題の解消にむけ、他市町村の動向を注視し、研究をおこないます。また安全パトロールの参加者の事業継続・代替案を検討していきます。
に目標 対する 評価 施策	児童生徒の下校時間を中心に、市内全域でパトロールを実施していることから、防犯・交通事故防止につながっています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実	担当	学校保健課
施策	施策4 学校安全の推進		

事業名	通学路安全対策事業	事業番号	53
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	登下校中の児童生徒の安全を図るため、通学路にグリーンベルトの設置工事を実施します。
主な対象(数)	市立小・中学校の通学路

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	825 千円	1,540 千円	919 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
工事箇所	1箇所	1箇所	1箇所	上尾市PTA連合会や各学校からの要望を受け対応した箇所数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	地元住民と学校からの要望を受け、グリーンベルト設置可能箇所1箇所にグリーンベルトを設置し、通学路の安全対策を講じました。また、その他要望のうちグリーンベルト設置による対応が難しい箇所については、関係課・関係機関と対策について協議・連携しながら、横断歩道や路面標示、ポール等の対策を講じ通学路の安全対策を多角的に実施しました。
課題	道路の形状や敷地、道幅の問題から、グリーンベルトの設置ができないことがあります。 グリーンベルト設置以外の安全対策等も関係課と検討していく必要があります。
方今後性の	児童生徒の登下校時の安全確保のため、継続して対応を実施していきます。関係課・関係機関と情報共有を図り、安全対策の推進を図ります。また、他市町村の動向等情報収集をおこない、グリーンベルト設置以外での対策案について検討していきます。また令和7年度に設けた安全調査の基準を用いて、客観的に危険個所を評価し、通学路安全対策を実施していきます。
に目標対標価す・施策評策	平成25年度から通学路の安全対策として、グリーンベルト設置による安全対策を実施しており、児童生徒の登下校時の安全確保につながっています。

第三者評価者からの意見・提言

目標Ⅵ質の高い学校教育のための環境の充実

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上	担当	生涯学習課
施策	施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進		

事業名	放課後子供教室運営事業	事業番号	54
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	公民館を会場に、放課後の子どもの安心・安全な居場所を確保し、公民館や地域で活動する大人たちの参画を得て、様々な学習や体験活動等の取組を実施することにより、大人や子ども同士の交流を育み、地域社会の中での生涯学習環境づくりを推進することを目的としています。
主な対象(数)	原市小学校放課後子ども教室原市小学校児童 (31人) 大石小学校放課後子ども教室大石小学校児童 (30人) 富士見小学校放課後子ども教室大石小学校児童 (30人) 芝川小学校放課後子ども教室大石小学校児童 (26人)

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,495 千円	3,135 千円	5,007 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
実施回数	112回	111回	112回	2教室の合計 ※令和8年度からは4教室で週1回実施（令和7年度までは2教室で週2回実施）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
延べ参加人数	1,491人	1,403人	3,300人	2教室の合計 ※令和8年度からは4教室
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	参加した子どもたちに、公民館で活動する団体や地域で活動する指導者、まなびすと指導者等が講師となって実施する教室・講座の場を通じて、遊び、工作、科学、スポーツなど多彩な体験を提供することができました。
課題	現在、活動に協力いただいている見守りのボランティアスタッフ（サポーター）が高齢化により不足しており、子どもの対応に苦慮しているケースが増えています。今後、教室を拡充する場合においても既存スタッフ以上に若年層の担い手を事前に確保する必要があります。
方向性の	地域の力を借りながら、今後も子どもたちの安心安全な居場所づくりに取り組んでいきます。また、近隣市と比較しても、小学校数に対する教室設置数が極めて少ないことから、不均衡を是正するために、市長部局と協力しながら、小学校を活用した全市的な取り組みへと進める必要があると考えています。
に目標 対標 価す・ 施策 する 評策	本事業は開始してから、長期間にわたり教室数が2箇所まで推移していましたが、小学校に対するアンケート結果や現場調査を実施したことで令和8年度から学校敷地内の教室を2箇所開講することができました。今後も既存教室で活動を継続していきながら、課題を解消していき教室の拡充に努めていきたいと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上	担当	指導課
施策	施策1 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進		

事業名	学校家庭連携推進事業	事業番号	55
-----	------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市小・中学校の保護者・地域等への配信メールシステムを整備し、各学校が保護者への連絡や情報提供、学校応援団等への連絡に活用しています。また、保護者から学校に連絡することもでき、極めて活用率の高いシステムです。このシステムを通して学校と連絡を取り合い、保護者や地域の方がボランティアとして、学習支援、環境整備、安心・安全の確保などの活動を通して、学校を支援し、学校・家庭・地域社会が一体となって子供の育成に取り組むことを推進しています。
主な対象(数)	市立小・中学校

2、事業費の推移

年度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金額	1,188 千円	1,188 千円	1,188 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校応援団の延べ活動日数	7,153日	7,566日	7,000日	学校での教育活動を支援する保護者、地域の方によるボランティアの活動組織による活動日数 ※目標日数が減少しているのは、共働き家庭の増加に伴い、活動内容の精査を行っている学校があるため。
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学習支援や環境整備、安心・安全の確保に関する活動において、学校・家庭・地域社会が連携し、一体となったよりよい教育活動の推進に取り組むことができました。なお、各学校が学校応援団等へ支援を依頼する際には、配信メールシステムのアンケート機能を活用することで、ボランティアの取りまとめを円滑に行うことができました。
課題	学校ごとに学校応援団等の活用状況に差が見られており、その活用の広がりや内容にばらつきがあることが課題となっています。各学校の実情に応じた効果的な活用を進めるとともに、好事例の共有や支援体制の充実を図りながら、学校・家庭・地域が一体となった取組をより一層推進していく必要があります。
今後の方針	今後も、多くの保護者や地域の方々に学校教育へ積極的に関わっていただきながら、各学校における学校応援団等の活動のさらなる充実を図ります。あわせて、各校での効果的な取組事例や工夫された活用方法について情報共有を進めることで、学校間における取組の質の向上と均一化を図り、学校・家庭・地域が連携した教育活動の一層の推進に努めます。
目標・評価する施策	第3期上尾市教育振興基本計画「目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上」に位置付けられており、学校応援団等の活動を通して、多くの保護者や地域の方々が教育活動に積極的に参画することが期待されています。これにより、学校・家庭・地域社会が連携した体制が一層強化され、相互の理解と協力のもとで、よりよい教育活動の推進につながっていくことが見込まれます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上	担当	生涯学習課
施策	施策2 家庭教育の充実		

事業名	家庭教育推進事業	事業番号	56
-----	----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	家庭教育の重要性を理解し家庭教育の充実を図るため、市内幼稚園や認定こども園の保護者が実施する家庭教育に関する事業を支援します。 また、上尾市PTA連合会と連携して行っている家庭教育講演会を開催することで、家庭教育力の向上を図ります。
主な対象(数)	市内幼稚園及び認定こども園の保護者会

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	118 千円	105 千円	185 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
家庭教育推進事業補助金交付団体数	3団体	2団体	1団体	家庭教育推進事業補助金の交付団体数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
家庭教育講演会の参加者数	未実施	35人	40人	令和7年度よりPTA連合会との共同開催をやめ、生涯学習課単独で実施
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	家庭教育講演会については、令和5年度までは市PTA連合会と共同で開催しており、令和6年度は未開催、令和7年度は生涯学習課単独で実施となりました。 家庭教育推進事業補助金は、市内幼稚園等の保護者会2団体に交付しました。
課題	家庭教育推進事業補助金については、市内幼稚園等の保護者会の活動が縮小傾向にあり、申請が年々減少しています。周知方法及び子育てや家庭教育の支援方法について検討が必要です。
方今後性の	少子化や核家族化といった社会環境や家庭環境が著しく変化している中で、より多くの親が家庭教育について考える機会の提供や家庭の教育力の向上のため、実施方法を検討の上、家庭教育支援の情報提供を継続していきます。 また、市内私立幼稚園等の保護者会が家庭教育に関する講演会や講座等を実施することを支援することにより、家庭教育力の向上を図ります。
に目標対価する施策	子どもの片付け力の高め方をテーマとした家庭教育講演会の受講者からは、「家族で考えて片付けをしようと思えた」「できていないことを叱るより、習慣づけてできたことをほめることを意識しようと思えた」といった声があり、家庭での子どもとのかかわり方を考えるきっかけとなったと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上	担当	指導課
施策	施策3 幼児教育の充実		

事業名	幼稚園・保育所と小学校の連携推進事業	事業番号	57
-----	--------------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	幼児教育の推進を図るため、上尾市幼児教育推進協議会を設置するとともに、幼児期から児童期への滑らかな接続・移行のため、幼・保・小連携合同研修会を実施します。
主な対象(数)	市立小学校教諭 市立保育所職員 市内私立幼稚園・認定こども園・私立保育所職員

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	194 千円	202 千円	244 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市幼・保・小連携合同研修会	年2回	年2回	年2回	年2回の研修会の実施
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市幼児教育推進協議会	年3回	年3回	年3回	年2回の協議会及び年1回の視察
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	上尾市幼児教育推進協議会では、保育所および幼稚園の2施設を視察し、実態を把握した上で、幼保小接続の現状と課題を踏まえた実践的な「架け橋期のカリキュラム」モデルの作成に向けて協議を行いました。 上尾市幼保小連携合同研修会においては、参集型で2回実施することができ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した幼保小連携について協議することができました。
課題	幼保小連携合同研修会を通じて「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への理解は深まってきたものの、各幼稚園や小学校が作成するカリキュラムへの具体的な反映や、実際の保育・教育現場における指導への活用には、まだ至っていないことが課題です。
方 向 後 性	幼稚園、保育園が作成している「アプローチプログラム」及び小学校が作成している「接続期プログラム」について、「幼児期に終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識できるよう、カリキュラムに位置付けていきます。 幼児教育推進協議会及び幼保小連携合同研修会において、幼保小の円滑な接続について協議していきます。
に 目 対 標 価 する 施策 評価	幼児教育推進協議会を通して、「架け橋期のカリキュラム」モデルの作成に向けた具体的な協議を行うことができました。 また、幼保小連携合同研修会を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、互いの理解を深めることができました。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅶ家庭・地域の教育力の向上

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策1 学び合い、共に支える社会の実現		

事業名	公民館講座事業	事業番号	58
-----	---------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	市民の新たな学びや地域社会に興味・関心を持つきっかけとして、子育てに関する内容から、趣味や教養、健康づくりに関する内容まで、幅広い分野の学習機会の提供を行います。 また、小・中学生を対象として各種体験や多様な学びを提供する土曜日の教育支援事業を実施します。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,830 千円	2,933 千円	3,285 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
公民館講座数	136回	138回	136回	6公民館の合計
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
公民館講座延べ参加人数	5,458人	5,947人	5,950人	6公民館の合計
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
土曜日等の教育支援事業延べ参加人数	485人	461人	480人	6公民館の合計

4、当該事業の評価

成果	各公民館において、子供向け、高齢者向け、などライフステージに応じた学びや、趣味や生きがい、職業生活の可能性が広がるような学習スタイルに応じた学びの場を設けることができました。講座数も増加しています。
課題	参加者の年齢層が高く、中長期的な講座への参加者数の減少が懸念されることから、学生や若年層を対象とした新たな講座や講師の開拓、周知方法の検討が必要になると考えています。
今後の方向性	今後も多くの市民に参加してもらえるよう、社会の変化や市民の学習要望を把握し、新たな事業展開に努めていきます。
目標・施策に対する評価	各公民館において、様々な学習機会を提供することができました。引き続き、ライフスタイルや学習スタイルに応じた学習の機会を提供します。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策1 学び合い、共に支える社会の実現		

事業名	人権教育集会所運営事業	事業番号	59
-----	-------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	原市集会所・畔吉集会所において、集会所利用者や地域の人々を対象に、人権問題指導者研修会を開催し、同和問題・障害者の人権・ジェンダーなど人権に関する研修を実施します。また、各種集会所講座・教室を開催します。
主な対象(数)	集会所利用者等

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,031 千円	1,091 千円	1,252 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
人権問題指導者研修会参加者数	367人	358人	360人	2集会所の合計
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
各集会所講座・教室参加者数	818人	1,043人	1,000人	2集会所の合計
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	人権問題指導者研修会については、「同和問題」と「聴導犬」「性の多様性」の3つのテーマを、対面形式とDVDを視聴する形式の2種類の方法で実施しました。各集会所講座・教室については計画どおり開催しました。
課題	人権教育集会所は、人権教育の拠点施設であるため、人権問題指導者研修会では、多様化する様々な人権課題について取り上げる必要があります。また、集会所の利用者同士の交流を図り、互いを尊重しあう人権意識の向上を目的として、多くの参加者が集う内容の講座・教室を開催する必要があります。
方向性の後	同和問題をはじめとする様々な人権問題についての理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るとともに、人権問題を自身の問題として捉え「偏見を持たない、差別をしない、差別をさせない」実践力を身に付け、地域の核となる人材育成を行うため、今後も継続して人権問題指導者研修会及び各集会所講座・教室を開催・実施していきます。
目標・施策に対する評価	人権問題指導者研修会は、利用団体と地域に関わる様々な団体が幅広く参加しており、人権問題に関する新たな知識を得たり、さらに深められたという感想を受けています。また、各集会所講座・教室は、小学生から高齢者まで幅広い世代を対象に行っており、利用者同士で教えあったりするなど交流の場にもなっていることから、「生涯にわたる学びの推進」を実施することができていると考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策1 学び合い、共に支える社会の実現		

事業名	公民館管理運営事業	事業番号	60
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市立公民館（全6館）を利用者が快適に利用できるよう、施設の維持管理に努めます。 公民館職員が日常的に点検を行っており、その結果を月ごとの日常点検結果として、施設課へ報告しています。また、システムへの入力によって、庁内で施設の情報共有も図っています。
主な対象(数)	市内6公民館

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	118,192 千円	211,790 千円	195,512 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
施設・設備の改修箇所	24件	33件	30件	施設・設備の劣化等による不具合に対応した修繕の件数（計画的に実施する工事は除く）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	各館の排煙窓改修工事、大石公民館照明LED更新工事（昨年度に工事が完了しなかった分）、大谷公民館エントランスの庇改修工事、大石公民館受変電設備改修工事、平方公民館屋根防水改修工事を実施しました。
課題	計画的に進める大規模工事のほか、各公民館において施設の老朽化による修繕が増加しており、その対応が課題となっています。
方向性の今後	引き続き、来館者が快適に利用できる、施設の維持管理に努めます。
目標・施策に対する評価	大規模工事に加え、細かな修繕も実施し、来館者に快適にご利用いただきました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策1 学び合い、共に支える社会の実現		

事業名	人権教育集会所管理事業	事業番号	61
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市立人権集会所（全2館）を利用者が快適に利用できるよう、施設の維持管理に努めます。 集会所指導員が日常的に点検を行っており、その結果を、月ごとに日常点検結果として、施設課へ報告しています。また、システムを利用して、庁内における施設の情報共有を図っています。
主な対象(数)	市内2集会所

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	8,687 千円	12,649 千円	18,823 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
施設・設備の改修箇所	3件	5件	5件	施設・設備の劣化等による不具合に対応した修繕の件数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	原市集会所トイレ建具修繕、畔吉集会所誘導灯交換修繕などの修繕により、施設の維持管理に努めました。
課題	施設の老朽化による施設設備の不具合が発生しています。
方向性の 今後	引き続き、来館者が快適に利用できる、施設の維持管理に努めます。
目標・施策に 対する評価	人権教育の推進の拠点として有効に活用することができています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策1 学び合い、共に支える社会の実現		

事業名	人権教育推進事業(学び合い、共に支える社会の実現)	事業番号	62
-----	---------------------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	上尾市人権教育推進協議会や、職員を対象とした人権問題研修会を開催するほか、各種団体が開催する研修会・会議等へ参加します。また、子供の頃から人権感覚を育むことを目的に、市内小・中学校の児童生徒を対象に人権標語コンクールを実施します。
主な対象(数)	市内の小・中学生等

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	769 千円	719 千円	1,007 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
教育委員会事務局職員人権問題研修会参加人数	91人	92人	90人	教育委員会事務局職員人権問題研修会参加人数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
人権標語コンクール作品数の割合	15,325件 (97%)	15,271件 (96%)	95%以上	作品数÷小中学生の人数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	教育委員会事務局職員人権問題研修会では、同和問題について深い知識を持っている方を講師に迎え、職員の人権問題についての理解を深めることができました。また、全小・中学生を対象とした人権標語コンクールを実施し、子供の頃から人権感覚を育む機会を提供することができました。
課題	現代社会には様々な人権についての課題があり、それぞれについて人権感覚を育む必要があります。 また人権標語コンクールについて、「標語」として募集をすると五・七・五調を連想することが多く、限られた文字数であることから、過去の作品と類似したものが作成されることが増えてきたため、募集の方法について検討する必要があります。
方 向 後 性	多様な人権問題に取り組むためには人権感覚を磨く必要があります。教育委員会事務局職員の人権感覚を磨き育むため、今後も教育委員会事務局職員人権問題研修会は継続していきます。 また人権標語コンクールも、人権について考えるきっかけづくりとなることから、募集の方法を検討していきます。
目標・施策に 対する評価	人権標語コンクールは、小・中学生という若い頃から人権感覚を育むための事業であることから、人権を意識して作成することで他者のことを考える良い機会となっていると考えます。 このことから、目標「生涯にわたる学びの推進」に寄与していると考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策2 生涯学習の「場」と「推進体制」の整備		

事業名	生涯学習指導者活動推進事業	事業番号	63
-----	---------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	様々な経験や技術を持つ市民に、生涯学習の指導者として活躍する場を提供するため「上尾市まなびすと指導者バンク」に登録してもらい、その情報を情報誌やホームページで、指導者を必要としている人に提供します。 また、まなびすと指導者バンク活動推進会議に補助金を交付するなど「まなびすと市民講座」などの支援を実施しました。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	322 千円	320 千円	323 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市まなびすと市民講座実施回数	19回	26回	26回	上尾市まなびすと市民講座実施回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
上尾市まなびすと市民講座延べ参加人数	386人	546人	550人	上尾市まなびすと市民講座延べ参加人数 R7は事業計画によるもの
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
ちょっとだけ体験広場参加人数	約500人	約650人	約650人	体験講座参加者を含む来場者数

4、当該事業の評価

成果	毎年実施しているフレイル予防や琴等の講座の他、今年度は新しく実施されたZUMBAの講座等まなびすと指導者活動推進会議の会員で26回の講座を実施しました。また、「ちょっとだけ体験広場」を開催し、約650名の方が来場され、講座回数、体験広場の来場者数とも増加傾向になりました。
課題	まなびすとバンク指導者活動推進会議会員が高齢化が進んでおり、新たな会員の獲得と、往復はがきだけに頼らない申込方法の確立等検討していく必要があります。
方向性の今後	推進会議会員の高齢化に伴い、新規会員数の確保および、往復はがきのみという申込み方法からメール等新たな申込み方法の確立が求められています。講座数は微増傾向にあり、それに伴い事業費も微増しています。今後の運営方法等検討していく必要があります。
目標・施策の評価	昨年度より、市民講座の実施回数、ちょっとだけ体験広場の来場者数も微増し、市民のニーズに合った講座の実施が行われたと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策2 生涯学習の「場」と「推進体制」の整備		

事業名	学校施設開放(生涯学習)事業	事業番号	64
-----	----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市民の生涯学習の場の確保を図るため、市内の小学校（平方東・芝川・富士見）の特別教室を学校教育に支障の生じない範囲において、市内で活動する生涯学習団体に対して開放します。
主な対象(数)	市内で活動する生涯学習団体

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,590 千円	3,426 千円	4,027 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
利用団体登録数	60団体	66団体	66団体	上尾市立学校開放施設利用団体登録数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
利用件数	680件	885件	890件	3校の合計利用件数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市民の学習の場として、また、AGE0地域クラブの会場としても位置付けられており、利用者は昨年度に比べ増加しました。
課題	市の中心部に位置し利便性の高い富士見小に利用が集中しています。平方東小・芝川小の利用促進を検討する必要があります。また、AGE0地域クラブの活動場所としても重要な位置づけであることから学校と指導課と連携を密にとっていく必要があります。
方向性の今後の	まなびすと市民講座の会場として、また、AGE0地域クラブの活動場所としても重要な位置づけとして考えられ、今後も継続して安定した管理が求められます。
目標・施策に対する評価	昨年度より、登録団体数、利用者数ともに増加し、平方東小学校の施設開放も再開し、富士見小学校、芝川小学校と合わせて、市民に学習活動の場を提供することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策3 未来へ向けた持続可能な生涯学習		

事業名	大学等との連携による生涯学習推進事業	事業番号	65
-----	--------------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市民の高度な学習欲求に応えるため、市内や近隣市町の大学等の教育機関や民間企業と連携を図り、より専門的で魅力的な、知的好奇心を刺激する学習機会を提供するための講座を実施します。
主な対象(数)	・ 聖学院大学公開講座：18歳以上の人 ・ 子ども大学：上尾市、伊奈町、桶川市に住む5・6年生

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	111 千円	232 千円	239 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
子ども大学あげお・いな・おけがわ応募者数	45人	46人	50人	上尾市在住者の応募者数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
あげお子ども大学応募者数	17人	26人	30人	あげお子ども大学応募者数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	「聖学院大学公開講座」は3講座を実施しました。「子ども大学あげお・いな・おけがわ」は全5講座、「あげお子ども大学」全3講座を実施し、多様な学びを提供しました。
課題	「子ども大学あげお・いな・おけがわ」、「あげお子ども大学」は昨年度に比べ応募者数が増加しました。今後も引き続き子どもたちに魅力があり学習意欲を刺激するような学習内容の検討の継続が必要となります。
方今 向後 性の	大学や企業などと連携し、高度な学びや研究・開発などについて深く学ぶ機会を提供するため、それぞれの持つ特徴・特色のある魅力ある講座を検討・実施していきます
目標・ 施策に 対する 評価	昨年度より参加者数が増え、より市民の知的好奇心を高める事業の実施を行うことができたと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	生涯学習課
施策	施策3 未来へ向けた持続可能な生涯学習		

事業名	二十歳のつどい事業	事業番号	66
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	二十歳を迎えた、または同年度中に迎える人の前途を祝福し、大人として、また社会人としての自覚を持ち、上尾というふるさとに対する意識を高められるよう、「二十歳のつどい」式典を実施します。
主な対象(数)	平成16年4月2日から平成17年4月1日の間に出生した市内に在住の人（令和7年11月1日時点）及び市外在住で、式典当日までに上尾市二十歳のつどいの参加希望のあった人。 男性1,063人、女性1,097人、計2,160人。

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,548 千円	1,561 千円	1,702 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
式典出席率	69.8%	69.9%	70.0%	出席者数／対象者数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	式典を午前と午後2回制で実施しました。対象者2,160人のうち1,509人が出席し、出席率は69.9%でした。
課題	毎年度、来場者の自動車の対応に苦慮しています。令和7年度は新たに迂回路を示した会場周辺図を配布する、会場から県道に出る自動車を左折のみとする等の対応を行い、混雑の緩和を試みましたが、大きな成果を得ることはできませんでした。
今後の方向性	引き続き、二十歳の方が再開を喜び合え、また社会人としての自覚と意識が高められる式典の開催を目指します。
目標・施策に対する評価	二十歳を迎えた人が、社会人としての自覚と意識が高められる機会を設けることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	図書館運営事業	事業番号	67
-----	---------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	多様化・専門化する市民の資料要求に応えるため、図書館システムのネットワークにより蔵書管理や利用者管理を行うとともに、本館・分館の運営業務（カウンター業務）、巡回配送業務を委託し、効率的・効果的な図書館サービスを提供しています。
主な対象(数)	図書館本館1館、分館（室）8館、利用者、受託事業者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	188,341 千円	211,342 千円	206,520 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
利用者数	369,874人	334,978人	335,000人	図書館資料を借りた人の数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
貸出資料数	1,051,910件	1,019,523件	1,030,000件	図書館資料の貸出件数（CD・DVD含む、電子図書含まない）
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	図書館システムを令和7年10月に更新し、LINE連携等の機能によるシステムサービスの提供を開始しました。
課題	利用者数および貸出資料数の減少について、その要因の解明に努め、今後の図書館運営の在り方について考える必要があります。一定の利用者だけでなく広く市民に図書館を利用してもらうために、図書資料の貸出しに留まらず、市民の様々なニーズの把握と同時に、図書館の魅力を伝えることで利用促進のための工夫が必要と考えます。
方向性	アフターコロナにおける市民の生活環境の変化や現代のインターネット社会の急激な進展を踏まえて、これからの公立図書館の在り方を考えていく必要があります。従来の書籍の収集・整理・保管・提供に留まらず、生涯学習及び地域の課題解決の場としての役割を担いつつ、更には賑わいの拠点としての位置付けをも視野に図書館運営に充実に努めていきます。
目標・施策に対する評価	地域の知の拠点、また情報拠点として重要な役割を持つ図書館の継続的・安定的開館は必要不可欠です。カウンター業務や巡回配送業務、図書館システム運用など図書館運営のための基本的な業務を滞りなく行えたことで市民の生涯学習の機会と場の確保につながられたものと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	図書館施設管理事業	事業番号	68
-----	-----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	図書館本館及び分館・公民館図書室の施設を管理します。
主な対象(数)	図書館本館1館、分館(室)8館、利用者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	33,740 千円	33,455 千円	32,696 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
施設・設備の改修箇所	17(内修繕16) 件	16(内修繕16) 件	10件	施設・設備を改修した工事等の件数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
LED切り替え箇所数	438箇所	事業移管のため設定なし	事業移管のため設定なし	蛍光灯のLEDへの切替箇所数(累計)
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	老朽化した図書館本館の施設管理の他、所管部署が異なる他の施設を含めて不具合等が発生した場合には関係部署と連携、調整しながら1日も臨時休館をすることなく運営することができました。
課題	本館をはじめとした施設・設備の老朽化は顕著であり、抜本的な対策が必要です。本館については、令和6年8月に策定した「上尾市図書館本館更新方針」の遂行に向け取り組んでいきます。
今後の方向性	引き続き、既存施設の適切な維持管理の実行と並行し、市の公共施設マネジメントとの整合性を図りながら、施設の改修や図書館網の整理等について取り組んでいきます。本館更新については、令和7年度から「図書館本館改修事業」として新規事業を設け進捗管理しています。
目標・施策に対する評価	施設管理において発生する様々な設備等の不具合の対処を可能な限り休館日に実施する等、利用者への影響を最小限にとどめる工夫をし、安定した図書館運営を行うことができたと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	図書館本館改修事業	事業番号	69
-----	-----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	建築後40年を超えた図書館本館の施設・設備の老朽化の解消と利便性の向上に向けた大規模な改修工事および長寿命化を実施します。また、本館工事期間中、図書館サービスを継続するための仮本館の整備を実施します。
主な対象(数)	図書館本館、仮本館

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	0 千円	92,476 千円	1,091,184 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	設定なし（特定の施設の改修事業であり年度ごとの達成指標の設定に適さないため）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	図書館本館改修の基本設計を行うとともに、本館改修工事期間中の仮本館としてまるひろ上尾SCを整備するため、株式会社丸広百貨店と図書館出店確認書を調印するとともに、仮本館工事に向けた実施設計に関する協定を締結し、実施設計を行いました。
課題	図書館本館改修工事の基本設計の結果に基づく概算工事費用の見込額が当初見込みよりも高額となったため、引き続き仕様を検討し費用の圧縮に務める必要があります。 また、仮本館の工事の進捗管理とともに具体的な運営方法の詳細を決定する必要があります。
方 今 向 後 性 の	図書館本館改修については基本設計に続いて実施設計を発注し、令和11年度第1四半期の開館に向けて実施設計の入札、契約及び工事予算の確保等を進めてまいります。 また、仮本館については令和8年度中のオープンに向けた契約、広報等の手続きを進めていきます。
に目 対標 価す・ る施 策評 策	図書館本館改修、仮本館整備については財政部局との調整や丸広百貨店との協議を重ねながら、新規事業を開始することができ、今後の整備に向けた事業の具体化やスケジュールの目途を立てることができたと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	ICTを活用した上尾市史等発信事業	事業番号	70
-----	-------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	上尾市の65年の歩みを紐解くツールとして上尾市図書館に所蔵している郷土資料(書籍)等をデジタル化し、市民に上尾市の歴史に手軽に触れてもらう、令和5年度から7年度までの政策企画提案事業です。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	89 千円	90 千円	0 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
貸出件数	185件	275件	-	電子図書館での郷土資料・その他歴史資料の貸出実績数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	電子図書館全体での郷土資料及びその他歴史資料の貸出総数は225件であり、前年度比で約1.5倍の伸び率となりました。
課題	郷土資料の電子書籍化にあたっては、著作権に関する法的整理が複雑であり、許諾の可否や申請先の特定等に相応の時間と手間を要することが、タイトル数の拡充を困難にする要因となっています。
今後の方向性	地域資料のデジタル化により、資料の保存性が向上し、時間や場所を問わず利用できる環境を整えることができました。本事業で計上していたデジタルサイネージシステム運用費は、図書館資料整備事業に計上し、引き続きICTを活用した情報発信を行います。
目標・施策に対する評価	郷土資料を電子書籍化し、いつでもどこでも郷土について知る機会を創出することにより、地域の情報拠点である図書館の重要な役割をの一端を果たすことができましたと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	図書館資料整備事業	事業番号	71
-----	-----------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	図書館サービスの根幹である図書館資料（図書・雑誌・新聞・視聴覚資料・電子書籍・オンラインデータベースなど）の整備をすすめます。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	35,712 千円	39,947 千円	49,716 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
青少年向け電子書籍の収集	13.0%	12.4%	13.0%	年間で購入する電子書籍全体の利用対象別の割合
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	蔵書冊数579,453冊（前年度比964冊 0.17%増）、雑誌及び視聴覚資料を含む資料総数608,487点（前年度比1,090冊 0.18%増）に対し、貸出点数は、1,019,523点（前年度比-32,387点 3.1%減）でした。 電子図書館サービスについては、新規利用者は495名、タイトル数33,099点に対し、貸出数は6,195点でした。
課題	図書館資料の収集・更新にあたっては、市民ニーズに即した計画的な蔵書構築が求められています。郷土資料や貴重資料の保有を維持しながら、新刊や利用者の関心が高い分野の資料についても、引き続き適切に収集していく必要があります。なお、配架スペースや予算などの制約にも配慮しつつ、資料選定を行うことが重要です。
今後の方向性	図書館資料の蔵書について、古い資料の入替えを行い、利用状況を把握したうえで、適切な資料管理に努めます。また、蔵書更新率の維持・向上にも留意し、計画的な資料の更新を進めます。さらに、利用者モニタリングの結果を踏まえ、利用者ニーズを的確に捉えた資料収集を推進します。 電子書籍についても、魅力ある資料の収集を図るとともに、講座等を活用して電子図書館の利用促進に取り組みます。
目標・施策に対する評価	市民の生涯学習を支え、知る権利を保障する社会教育施設として、資料の収集と提供を適切に行いました。電子図書館は、利用者ニーズに即したタイトルの収集と継続的な周知を図る必要があります。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	子どもの読書活動支援センター運営事業	事業番号	72
-----	--------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	あげお子ども読書プランに基づき、家庭・地域・学校と図書館の連携を図り、子供の読書に関する情報の収集・提供、講師派遣、講演会・講座の開催、読書ボランティアの育成、子供向け読書イベントの開催・学校支援など、子供の読書活動を推進します。
主な対象(数)	市内の家庭・学校・地域

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,840 千円	1,158 千円	1,577 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」利用学校数(延べ)	44校	44校	44校	市内の小学校に対して、教科書の単元に関連する本のセットを配送した学校数(延べ)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	国語の教科書から生活科や理科・社会などほかの教科につながる図書のセットを小学校に利用いただくため、8種類合計48セットを配送業者に委託して、年度を通して全小学校に均等に循環させました。また、本館・分館にて一般向けに展示・貸出を行いました。
課題	学校の授業単元等をキーワードとして、そこから関連して児童が読んで楽しく、興味や関心を広げ、個性や能力を伸ばす本を選定し、授業等の開始時期に合わせて、学校へ配送を行っている。今後は、図書館の「学校支援」から、双方向の「連携」が進むきっかけとなり更なる読書推進につなげていく必要があります。
今後の方性の	継続して、市内全小学校に実施します。配送方法については引き続き業者に配送業務を委託します。
目標・施策に対する評価	子どもの読書活動支援センターは、家庭・学校・地域の連携課題に応じた取り組みを実施しています。「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業は、子供たちの興味に繋がるよう、授業とそれぞれの本をつなげる連想マップを作成し、学校に配布するなどの工夫をしています。 本市の状況にあわせた事業展開により、学校との連携強化に繋がり、生涯にわたる学びの推進に大きく寄与しているものと考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	視聴覚ライブラリー事業	事業番号	73
-----	-------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	子供や大人向けの映画会を開催します。視聴覚資料や教材を収集するとともに、視聴覚活動や映画会を行う市民団体に視聴覚教材・教具の貸出を行い、活動を支援します。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	311 千円	320 千円	448 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
視聴覚教材・教具利用団体数	19団体	18団体	20団体	視聴覚活動や映画会を行う市民団体支援
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	プロジェクターやスクリーン等視聴覚教材の総貸出点数は、28点でした。 また、子どもや大人向けの映画会を実施しました。 映画会開催実績 子ども向け：3回、一般向け：2回
課題	機材の老朽化に伴う入れ替えや団体用視聴覚資料の購入を効果的に行うために、機材の状況の把握に努め視聴覚サービスの充実を図る必要がある。
方向性の今後の	利用者のニーズにあった視聴覚資料の収集に努めるとともに、既存の機材やコンテンツを生かした取り組みを継続していきます。
目標・施策に対する評価	映画会の開催や団体貸出を通じて、多くの利用者及び団体の視聴覚活動を支援することにより、生涯にわたる学びの推進に寄与していると考えます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	ブックスタート事業	事業番号	74
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	4か月児健康診査時に、赤ちゃんと保護者が絵本を通してゆっくりと向き合い、心触れ合うひとときを過ごすきっかけづくりとして、絵本の読み聞かせの実施と絵本の配布を行います。
主な対象(数)	市内在住の4か月児とその保護者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,645 千円	2,455 千円	2,422 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
ブックスタート実施人数 (絵本配布数)	1,372人	1,322人	1,300人	検診受診者に配布する絵本と赤ちゃん向け図書館イベント等のチラシの配布数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	4か月健康診査時に赤ちゃんと保護者に向けて絵本を配布し、図書館職員とボランティアで絵本の読み聞かせを行いました。実施回数23回。ブックスタート実施人数：1,322人 絵本の配布数：2,644冊。
課題	4か月健康診査時に読み聞かせと配布を実施するという体制をとっていることから、受診者に漏れなく絵本を渡すことができるようにするため、健康増進課との連携をより緊密にしていく必要があります。
方向性の今後の	絵本を通して、赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心触れ合うひとときを過ごすきっかけづくりとなるように今後も事業を継続していきます。
目標・施策に対する評価	絵本の配布や読み聞かせを通じて、保護者やボランティアを含めた家庭・地域への効果的な支援に繋がっています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進	担当	図書館
施策	施策4 図書館運営の充実		

事業名	セカンドブック事業	事業番号	75
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市内小学1年生を対象に、絵本の読み聞かせと図書カード入れ付きの読書パスポートを配布し、家庭・学校・地域・図書館が連携して、読書好きな子供たちを育成します。
主な対象(数)	市内在住の小学生

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,992 千円	26 千円	4,338 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
読書パスポートコンクール参加校数	22校	22校	22校 (参加児童数：9,000人)	学校の協力により、年間1回実施し、優秀者を表彰する。その参加校数※より実効的な指標とするため、R8より参加児童数に指標を変更する予定です。
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	5月から6月にかけて各小学校に出向き、学校図書館支援員や読み聞かせボランティアの協力のもと、読書パスポートの説明と配布、絵本の読み聞かせを行いました。なお、読書パスポートの配布は、1,673人でした。また、市内全小学校（22校）で読書パスポートコンクールを開催し、受賞者に図書館より表彰状を送りました。
課題	読書パスポート利用について、6年間継続して利用してもらえるよう、やり方や学校との協力体制をよりスムーズに改善していく必要があります。
方今向後性の	今後も各小学校へ出向き、新1年生への読書パスポートの説明と配布を続けていきます。また本への興味を高めるための機会ととらえ、読書パスポートを活用した児童イベントを企画していきます。
に目標対する施策評価	子どもたちが自発的に読書に親しむ習慣を身につけることに繋がる事業であり、将来的な学習活動への支援になるものと考えます。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅷ生涯にわたる学びの推進

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策1 文化芸術の振興		

事業名	美術展覧会事業	事業番号	76
-----	---------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	広く市民の美術活動の普及を図り、豊かな人間性を養い、市民文化の向上に寄与することを目的として、上尾市美術展覧会を開催します。
主な対象(数)	出品者は15歳以上で上尾市内に在住、在勤、在学、または上尾市内に事務所を持つ美術団体に所属する人

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,620 千円	1,534 千円	2,064 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
作品出品点数	338点	333点	340点	6部門の合計作品出品点数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
入場者数	1,402人	1403人	1500人	2会場の合計入場者数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	第57回（令和7年度）は、出品点数は前回より5点減少、入場者数は1人増加と、昨年度とほぼ同水準でした。市民に芸術活動の成果の発表の場と鑑賞の場を提供することができました。
課題	出品者の高齢化や新型コロナをきっかけに出品数が減少しています。今後も継続して新規の出品者（特に若い人）を増やしていく取り組みや事業について周知する方法を検討する必要があります。また、美術家協会会員の会員数の減少や高齢化により、運営が困難になりつつあります。
方今 向後 性の	広く市民が出品できる公募の展覧会は市内で唯一であり、作品の発表の機会を提供するとともに、鑑賞の機会を提供する場でもあります。市民の芸術活動を支援するため運営方法を研究しつつ、今後も継続して実施していきます。
目標・ 施策に 対する 評価	市民の文化芸術の活動成果の発表や鑑賞する機会を提供することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策1 文化芸術の振興		

事業名	市民音楽祭事業	事業番号	77
-----	---------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	合唱祭、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭の3部門で開催します。実行委員会形式で実施し、市内音楽活動団体の発表の場とするともに、参加団体間の交流を図ります。 また、広く市民に音楽鑑賞の場を提供します。
主な対象(数)	上尾市内に在住・在勤・在学の人で構成された団体

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	688 千円	670 千円	1,285 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
参加団体数	40団体	38団体	40団体	3部門の合計参加団体数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
入場者数	1,477人	1,500人	1,800人	3部門の合計入場者数
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	合唱祭と吹奏楽・器楽祭はあげお富士住建ホール、邦楽祭は三井金属あげおコミュニティセンターで開催しました。各音楽祭実行委員会を機に参加団体同士の交流が行われる等、それぞれの活動の活性化につながり、合唱祭、吹奏楽・器楽祭については合同演奏も実施できました。
課題	新型コロナ感染拡大以前の団体数には達していませんが、吹奏楽・器楽祭については令和6年度と比較して増加しました。また、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭ともに、令和6年度と比較して来場者数が増加しました。引き続き参加団体数を増やしていく取り組みを検討していく必要があります。
方向性の 今後の	市民の音楽団体の発表の場として、また市民が音楽を鑑賞する場として定着しているため、今後も継続して実施していきます。
目標・施策に 対する評価	それぞれの部門ごとに参加団体で協力しながら事業を実施することができました。また、市民の文化芸術の活動成果の発表や鑑賞の場を提供することができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策1 文化芸術の振興		

事業名	文化芸術振興事業	事業番号	78
-----	----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	文化活動の支援及び育成を目的として、上尾市文化団体連合会への補助や文化芸術基金の管理を行います。
主な対象(数)	上尾市文化団体連合会

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	756 千円	772 千円	752 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
加盟団体数	5団体	5団体	-	上尾市文化団体連合会加盟団体数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	令和7年度は秋に上尾市文化団体連合会文化芸術祭を開催するなど事業を展開しており、上尾市社会教育団体補助金を交付しました。また、上尾市文化芸術振興基金の管理を行いました。
課題	上尾市文化団体連合会は、会員の高齢化や会員数の減少及び加盟団体数の減少といった課題があります。それに伴い協賛団体による事業費が減少しているため、今後も、県の補助金等の活用について積極的に情報提供を行う必要があります。また、後進の育成についての支援方法を検討していく必要があります。
方今 向後の 性の	今後も、市民が気軽に芸術鑑賞を楽しみ、また参加できる場を提供するため、上尾市文化団体連合会の活動をはじめ、市民の文化芸術活動の支援に取り組んでいきます。
目標・ 施策に 対する 評価	「上尾市文化芸術祭」が開催され、日頃の研鑽の成果を発表するとともに、市民に文化芸術に親しむ機会を提供することができました。 また、文化団体連合会加盟団体の自主的な活動が活性化するよう、発表会や大会などの支援を行いました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	「上尾の摘田・畑作用具」保存活用事業	事業番号	79
-----	--------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	令和3年3月に国指定重要有形民俗文化財となった「上尾の摘田・畑作用具」について、その保存のため適切な管理を行うとともに、市民への公開や啓発を行うことで、文化財の普及を図ります。
主な対象(数)	摘田（405点）・畑作用具（345点）合計750点

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	424 千円	3,610 千円	233 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
指定文化財啓発展示期間 中来場者数	2,085人	2,210人	-	展示期間中の自然学習館来場者
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	資料室の保存環境を整備しながら、個別に資料の清掃・点検作業を実施しました。「上尾の昔・くらし展～摘田・畑作用具～」を16日間開催しました。埼玉県立歴史と民俗の博物館にて貸出展示を実施しました。大石南小学校において保存環境調査及び教室改修工事を実施しました。
課題	保有している文化財の整理・清掃作業や保存方法が確立されていないため手探りで作業を行っています。可能な限り、現在の保存環境の改善を図っているものの、防火対策等が行き届かず、文化財保護審議会からも専用の収蔵施設が必要との指摘を受けています。
方 向 性 の 後 の 性	引続き保存環境の改善を図りながら、文化財の清掃・点検作業を継続して実施します。施設を含め適切な保存・管理のあり方の検討を継続します。 また、保存活用計画を作成し、これを基づいて施策を実施できるように努めます。
目 標 ・ 対 策 に 関 する 評 価	保存環境調査及び教室改修工事を実施したほか、継続して資料の清掃・点検作業を実施しました。また国指定重要有形民俗文化財の普及啓発事業として講座を実施しました。更なる工夫をして文化財を周知する必要があります。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	文化財調査・保存事業	事業番号	80
-----	------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市文化財保護条例に基づき、市内に所在する文化財のうち重要なものを市指定文化財等として指定し、その保存及び活用を図ります。また、これらの文化財を次世代へ継承するため、文化財の修理や維持管理に必要な経費を補助するとともに、無形民俗文化財保持団体を対象とした交付金を交付します。
主な対象(数)	国指定重要文化財1件 県指定文化財5件 市指定文化財84件 市登録文化財39件

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	1,810 千円	1,044 千円	1,832 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
文化財件数	123件	123件	123件	市指定文化財及び市登録文化財の件数（累計）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	県・市指定無形民俗文化財6団体に対し活動支援のため交付金を交付しました。また、指定文化財説明板1基を修繕しました。指定・登録文化財の保存のため1件の文化財修理に対し補助事業を実施しました。その他、県指定文化財の害虫防除や市指定文化財の環境整備を実施しました。
課題	無形民俗文化財の後継者不足は依然として続いています。また、文化財それぞれの特性に合わせて適切な補助事業を実施する必要があります。
方向性の今後の	周辺地域の情報を収集して団体の方々と連絡を取合い対策を講じます。また、それぞれの文化財に適切な補助をできるように研究します。
目標・施策に対する評価	無形民俗文化財の後継者不足による活動休止や保持団体の解散は全国的な課題です。構成員の増加例や若者の確保方法等、成功例の研究が必要です。文化財の補助については、より良い形で未来に託せるように、関係団体や研修等による研究を重ねます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	埋蔵文化財調査事業	事業番号	81
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財を保護するため、範囲確認や記録保存の調査を実施します。埋蔵文化財包蔵地で土木工事等の計画がある場合、先立って保存すべき遺構・遺物の有無と、その範囲を確認するために試掘調査を実施する必要がある、保存すべき埋蔵文化財が確認された場合は、記録保存のために発掘調査を実施するとともに、調査報告書を刊行します。
主な対象(数)	上尾市の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）248カ所

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	2,291 千円	2,115 千円	3,680 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
試掘調査件数	25件	16件	-	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等計画に先立って行う調査
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	文化財保護法第93条第1項の規定に基づく届出を82件受理しました。このうち試掘調査21件、工事立会25件を実施しました。残りの1件は翌年度に繰越し、25件は調査済みの計画地であったため届出を受理し副申しました。 発掘作業を1件実施しました。それに伴い、遺跡の出土遺物整理作業を実施しました。
課題	発掘調査が発生した際すぐに対応できるような人員体制の整備が必要です。 また、整理作業を終了した出土遺物を有効に活用できるように整理する必要があります。
方今後性の	埋蔵文化財調査は文化財保護法に基づいて埋蔵文化財を保護するため行うもので、文化財保護法により市町村教育委員会が実施するものとされており、引き続き法令に則って実施していきます。
目標・施策に 対する評価	文化財保護法及び関連例規に基づき、適正に手続きしています。 また、計画的に整理作業を進め、報告書刊行を行っています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	文化財保護啓発事業	事業番号	82
-----	-----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	多くの世代へ上尾の歴史や文化を周知し、文化財保護意識を醸成するため、「あげお歴史セミナー」や「上尾の文化財展」等の啓発事業を実施します。また、市内の無形民俗文化財の映像記録を公開しているホームページ「あげお文化遺産ガイド」、SNSの管理を行います。
主な対象(数)	市民全般

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	704 千円	761 千円	770 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
啓発事業実施回数	16回	17回	17回	上尾歴史セミナーや展示、出前講座等の実施回数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	あげお歴史セミナーを3回、上尾の文化財展を2回開催し、出前講座7件の申請に対応して講師を派遣しました。また、新規採用職員研修、教職員初任者研修、教職員5年経験者研修の講師を務めました。
課題	セミナーごとに応募者状況に差が出るため、テーマをよく検討する必要があります。また、アンケート結果や世相をよく確認し、市民が求めている内容を把握して、次のセミナーや展示の開催につなげる必要があります。
今後の方向性	市民が求めているセミナーや文化財展を開催できるようにアンケートを実施して検討します。出前講座では受講者の反応をよく見て次に活かせるよう努めます。
目標・施策に対する評価	文化財展期間中において夏休みこども考古学教室を開催し、歴史セミナーとの連携を図ることで充実した事業とすることができました。また、出前講座や研修の講師などの依頼に対応し、文化財や上尾の歴史について啓発を図ることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	歴史資料調査事業	事業番号	83
-----	----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市史編さん事業で収集した古文書や行政文書等の歴史資料について、保存及び活用を図るため、資料の分類・整理、目録の刊行等を行います。 また、新たに収集した歴史資料についても、整備を行います。
主な対象(数)	約16万点

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	449 千円	473 千円	623 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
目録点数	23点	23点	23点	刊行した歴史資料目録の点数 (累計)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市史編さんに必要と認められる歴史的価値のある公文書の目録を作成作業を進めました。また、これまで収集した公文書の整理・選別作業を実施したほか、古文書約600箱の曝涼や、マイクロフィルムの保存環境を整備しました。
課題	歴史的価値のある公文書や古文書の適切な保存方法や、効果的な活用方法を検討する必要があります。また、資料の受入スペースが狭くなっているため、保存場所の検討が必要です。
方向性の今後の	歴史資料の整理・点検作業を引続き実施し、新たに受け入れた資料についても継続して整理作業を実施します。
目標・施策に対する評価	古文書やマイクロフィルム等の歴史資料の整理・点検作業を継続して実施しました。今度も適切に保存・活用するため、文書目録を整備していきます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標Ⅸ 文化芸術の振興	担当	生涯学習課
施策	施策2 文化財の保護		

事業名	市史担当分室及び資料室管理事業	事業番号	84
-----	-----------------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	歴史資料調査事業を行っている市史担当分室（平成18年度～）と、市史及び関連図書を保管している原市資料室（平成元年度～）の維持管理を実施しています。
主な対象(数)	市史担当分室及び原市資料室

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	533 千円	325 千円	357 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
施設・設備の改修箇所	1件	0件	-	施設・設備の維持管理のための点検・修繕箇所数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	修繕を行ったところはありませんが、原市資料室の消火器の点検、大石南小のカーテンのクリーニングおよび空調設備の点検を実施しました。
課題	市史分室は小学校の教室を活用しており、歴史資料や古文書などの専用の保存施設ではないため、保存環境に課題がある。また、スペースに限りがあり、報告書や刊行物を原市資料室と合わせて分散しています。
今後の方向性	引き続き施設の維持管理を行うとともに、これからの市史担当分室及び市史資料室のあり方を検討します。
目標・施策に対する評価	収集した歴史資料及び寄託されている歴史資料の着実な保存に努めています。

第三者評価者からの意見・提言
目標Ⅸ文化芸術の振興

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実		

事業名	屋外スポーツ施設管理運営事業	事業番号	85
-----	----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	平方スポーツ広場、平方野球場等の屋外スポーツ施設の全般的な整備や管理運営を行い、安心・安全に利用できる環境整備を図ります。また、多様な市民ニーズに対応するとともに、生涯にわたりスポーツに親しめるよう、効率的な管理運営など、スポーツを継続的に行うための環境づくりを図っていきます。
主な対象(数)	平方スポーツ広場、平方野球場、平塚ゲートボール場

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	17,285 千円	19,352 千円	63,693 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
屋外スポーツ施設の利用者数	47,731人	68,387人	70,000人	平方スポーツ広場、平方野球場を利用した人数(単年度)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	グラウンド整備や除草のほか、平方スポーツ広場では野球場用のベンチや屋外時計の修繕などを行い、安心・安全に利用できるよう環境整備を進めてまいりました。
課題	施設の経年劣化により計画的な改修や整備を行う必要があります。 また、主としてチームスポーツを想定した屋外スポーツ施設のため、休日の利用率は高い一方、平日の利用率が低くなっており、課題となっており空コマ利用の促進が課題となっています。
方 向 性	スポーツに親しみ、安全・安心に利用できるよう必要な修繕や整備を計画的に進めていくとともに、施設の多目的利用や個人利用などの利用方法の検討を進め、サービスの向上に努めます。
目標・施策に対する評価	市民に身近なスポーツ施設として、グラウンド整備や除草等の施設全般的な整備とともに、各施設必要な修繕や改善を図り、利便性の向上と維持管理に努めることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実		

事業名	市民体育館・平塚サッカー場管理運営事業	事業番号	86
-----	---------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	多様化する市民ニーズに効果的に対応するため、指定管理者制度により、市民体育館及び平塚サッカー場の管理運営を継続し、施設の安全管理と利用者へのサービス向上を図っていきます。
主な対象(数)	スポーツ・レクリエーション利用者

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	72,177 千円	78,691 千円	66,918 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
市民体育館・平塚サッカー場の利用者数	441,487人	417,474	420,000	市民体育館・平塚サッカー場を利用した人数(単年度)
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	市民体育館においては、柔剣道場の雨漏り修繕を行ったほか卓球場や会議室兼スタジオの空調設備の更新工事を行い施設の安全性の確保及び利便性の向上を図りました。一部利用場所を制限したことなどが、利用者減少につながったと考えられます。
課題	施設の老朽化による修繕費用や光熱水費等の増加による管理運営費への圧迫が懸念されているなか、安定した管理運営が望まれます。また、利用者の安全と利便性向上に向け各設備の更新が急務となっているため、計画的な改修等が必要です。
方今 向後 性の	指定管理者制度を継続し、民間事業者の運営による活力を活かし、市民のスポーツ活動、健康づくりをサポートする拠点施設として安全管理と利用者へのサービス向上を図ります。
目標・ 施策に 対する 評価	新たな指定管理者による管理運営がスタートし4年目を迎え、利用者の安全安心とサービス向上により、利用の促進が一定程度図ることができました。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実		

事業名	学校施設開放(スポーツ振興)事業	事業番号	87
-----	------------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	学校施設（体育館、校庭）の開放のために、修繕、備品の交換、補充を行い、安全に快適な施設利用の推進を図ります。計画的に社会体育用設備やトイレ等の修繕を行っています。
主な対象(数)	市内在住・在勤・在学の学校施設開放（校庭・体育館）利用団体及び利用者（小学校22校・中学校11校）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	20,745 千円	28,544 千円	35,434 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校施設開放の利用団体数	383団体	381団体	400団体	学校開放利用団体名簿
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
学校開放月例利用報告書	300,614人	300,021人	305,000人	学校開放月例利用報告書
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	学校開放施設の備品交換・補充のほか、計画的に進めている社会体育トイレの洋式化について、3校（原市中、大石中、大石南小）の改修を行い、利用環境の充実に努めました。
課題	学校周辺の住民から、校庭の防球対策、利用者の遵守事項の徹底などに関する苦情が寄せられています。近隣住民の理解や住宅環境との共存が課題となっています。
方 向 後 性	学校開放施設の有効利用を推進します。老朽化した社会体育施設の修繕や防球ネットの設置等による利用環境の充実、周辺環境への配慮に努めます。 近隣住民からの苦情については、適宜、学校施設開放委員会を通じて、注意喚起や改善を促しています。また、苦情一覧を作成し、各委員長へ周知を行い、利用時における注意喚起を徹底しており、地域住民との共存に努めていきます。
目標・施策に 対する評価	社会体育施設の早期修繕や計画的な改修工事により、安全で快適な施設利用に繋がっています。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実		

事業名	スポーツ大会・教室等開催事業	事業番号	88
-----	----------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	市民への生涯スポーツ・レクリエーションの普及、振興を図るため、各種スポーツ大会及び教室等の事業メニューを提供し、市民がスポーツに親しめる機会の創出とスポーツを通じた健康づくり、体力増進への取り組みを推進することを目的としています。
主な対象(数)	各スポーツ大会、教室等の参加者

2、事業費の推移

年度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金額	22,675 千円	23,926 千円	30,146 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
スポーツ・レクリエーション事業参加者数	14,837人	12,032人	15,000人	各種スポーツ大会・教室に参加した人数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	上尾市スポーツ健康都市宣言の趣旨を踏まえ、ユニバーサルスポーツ体験や親子スポーツ体験などを実施し、年齢や性別、障害の有無等に関わらず、誰もが一緒にスポーツを親しみ、楽しめる環境づくりに取り組みました。また、上尾シティハーフマラソンなどの大規模イベントは、上尾運動公園陸上競技場の改修工事の影響を踏まえ、開催規模等を見直し、参加者の確保に努め、参加率の上昇など一定の成果を上げることができました。
課題	多様化する市民ニーズへの対応が求められており、時代に合わせたスポーツ機会の提供が必要となっています。ライフステージに対応し、市民の誰もがスポーツに親しめる環境の充実に向けた施策が必要となっています。また、広報媒体が限定的であり、SNSやウェブサイトの活用による情報発信力の不足やターゲット層への周知不足についても検討が必要と考えております。
方向性の今後	「第3期上尾市スポーツ推進計画」を踏まえ、誰もがスポーツを楽しめる環境や機会の充実に向け、幅広い年齢層で実施できるユニバーサルスポーツの推進、また近年注目のアーバンスポーツなど市民ニーズに注視しながら、新たなスポーツ活動や運動への関わりを推進し、スポーツ振興事業への参加者の増加を図ります。
目標・施策の評価	各種スポーツ大会及びスポーツ教室等を開催し、市民のスポーツ活動の推進、スポーツを通じた健康増進に向けた意識醸成等を行うことができました。目標値を達成すべく、誰もがスポーツを楽しめる機会や環境の提供などを行い、健康増進や運動習慣化の定着に努めていきます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実		

事業名	スポーツ交流事業	事業番号	89
-----	----------	------	----

1、事業の概要

主な目的・内容	市民への生涯スポーツ・レクリエーションの普及、振興を図るため、他市とのスポーツ交流を通してスポーツ機会の提供を推進し、相互の競技力の向上、健康増進を図っていきます。
主な対象(数)	スポーツ交流に参加する人

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	486 千円	726 千円	1,269 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
スポーツ交流事業の参加者数	46人	47人	55人	交流事業に参加した人の数
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	上尾市民駅伝競走大会が積雪により中止となりましたが、友好都市である本宮市とのスポーツ交流として「もとみや駅伝」へ参加し、競技力の向上とスポーツを通じた地域間交流の推進を図ることができました。
課題	スポーツ交流事業の趣旨を踏まえると他市などとの交流を通じて、相互の競技力向上とスポーツを通じた地域間のつながりと発展的な交流が望まれます。
今後の方向性	駅伝の情報や市の魅力を記載したチラシやポスターを作成し、本宮市の小中学校への掲示依頼や、本宮市のスポーツ団体、本宮市の広報等へ周知を依頼することで上尾市に興味を持っていただき、参加者の増加を図り、スポーツ交流の活性化に向けた事業に努めていきます。
目標・施策に対する評価	スポーツ交流を通じて、相互のスポーツ競技力の向上と健康増進を図り、スポーツを通じた地域交流の促進を図ることができました。また、交流をきっかけとした相互理解の促進、他市との更なる連携が期待できます。

●上尾市教育振興基本計画の体系

目標	目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進	担当	スポーツ振興課
施策	施策3 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進		

事業名	スポーツ活動推進事業	事業番号	90
-----	------------	------	----

重点事業

1、事業の概要

主な目的・内容	地域スポーツの推進を担うスポーツ推進委員等の研修や講習会を実施し、市民への生涯スポーツ・レクリエーションの普及、振興を目的としたスポーツ推進委員連絡協議会の活動を支援し、スポーツ活動の推進を図ります。
主な対象(数)	スポーツ推進委員自主事業（スポーツ推進委員数50人、定員50人）

2、事業費の推移

年 度	令和6年度 決算	令和7年度 決算	令和8年度 当初予算
金 額	4,202 千円	5,559 千円	5,290 千円

3、評価指標

指標名 1	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
スポーツ推進委員の各種研修会等への参加者数	220人	256人	250人	国・県・市の研修会に参加した人の数（延べ）
指標名 2	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-
指標名 3	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	指標の説明・補足
-	-	-	-	-

4、当該事業の評価

成果	7回目を迎えた「ミニバレー大会」に過去最多数のチームから申込があり、大きな盛り上がりを見ることができました。親子向けの「ミニバレー・ヘルスバレー体験会」を開催し、スポーツを通じた健康づくりの推進に取り組みました。また、様々なニュースポーツ・ユニバーサルスポーツの研修や講習会を実施し、新任委員を中心に、多くの委員がスポーツ推進委員として必要な資質の向上を図りました。
課題	スポーツ推進委員は、任期の2年毎にスポーツ協会の加盟団体などから推薦を受け、委嘱をしているが、スポーツ協会加盟団体自体の高齢化や小規模化などにより、スポーツ推進委員の高齢化やなり手不足が課題となっています。また、ベテラン委員と経験の浅い委員の意識や能力に差があるため、委員の育成面も課題となっています。
今後の方向性	スポーツ推進委員の高齢化、なり手不足の解消に向けて、公募による新任委員の委嘱に努めていきます。また、経験年数の浅い委員の育成策として、専門委員会に所属することで、ベテラン委員の知識の共有や意識の醸成を図り、委員間のスキルの平準化に努めていきます。
目標・施策に対する評価	スポーツ推進委員の更なる資質向上を図るため、国や県の研修への参加や自主研修などの実施に関する支援を行いました。また、「ミニバレー」の普及のため、恒例となっている「ミニバレー大会」のほか、親子向けの「ミニバレー体験会」を開催し、幅広い世代を対象としたスポーツ活動の推進を図りました。

第三者評価者からの意見・提言

目標Ⅹ健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

2 計画の指標進捗報告シート

指標名	担当課	H31(2019)実績値及び 実績値から見た指標の方向性		令和7年度実績値	達成状況	取組内容とその評価	今後の方針等	備考	
目標Ⅰ 確かな学力の育成									
上尾市立小・中学校学力調査における得点 対象学年：小学校2年生～中学校2年生 調査教科：国語、算数、数学、英語 ※英語は中学校1年生で実施	指導課	小学校 (総合)	51.1		48.8	未達成	小学校2年生から6年生が国語、算数の学力調査を行い、各校において、現時点における児童の学力を把握することができました。	調査結果の詳細な分析や個々の学習熱度に応じた問題の活用を通して、学力の定着と向上を図っていきます。	
		中学校 (総合)	51.3		51.3	未達成	中学校1、2年生が国語、数学、英語の学力調査を行い、各校において、現時点における生徒の学力を把握することができました。	調査結果の詳細な分析や個々の学習熱度に応じた問題の活用を通して、学力の定着と向上を図っていきます。	
	大型モニタの活用率（活用時数÷授業時数）	指導課	小学校	68%		93.7%	◎	【取組内容】 ○スクールタクト活用研修会（オンデマンド配信）の実施（年2回） ○ICT端末を活用した授業研究会の実施（年2回） ○生成AIの利活用に関するオンライン研修会 ○ICT支援員によるサポート及び各校におけるミニ研修の実施 ○上尾市教職員専用ICTサポートサイトの活用 【評価】 令和7年度第2回ICT端末活用状況調査において、「毎週ICT端末を授業等で活用する教員」の割合が、小学校で93.7%、中学校で90.2%に達しました。	・「デジタルとアナログのベストミックス」を新たな上尾市学校ICT推進プランとし、目的に応じた効果的なICTの使用についての調査内・シテイズンシップ教育の充実を図り、安全かつ効果的なICT端末の利活用を推進します。 ・情報モラル、情報セキュリティ教育に重点的に取り組むことで、増え続けるネットいじめやSNSトラブルに対処するとともに、児童生徒に対しデジタル社会を主体的に生き抜くデジタルシテイズンシップを身に付けさせます。 ・ICT端末を活用した授業研究会、操作等研修会における内容を充実させ、教職員の資質・能力の向上を図ります。
目標Ⅱ 豊かな心の育成									
認知したいじめの解消率	指導課		75.9%		76.0%	◎	「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」や「上尾市いじめ防止子供サミット」を実施し、児童生徒及び教職員の未然防止、早期発見及び早期対応に係る資質・能力を向上させることができました。 また、「生徒指導及び教育相談に係る研修動画」を活用した研修を各校で行い、教職員のいじめ問題に対する指導力を向上させることができました。	いじめ防止について、児童生徒が自分たちにてきえることを主体的に計画し、実行する取組を行うとともに、教職員のいじめ問題に対する指導力の更なる向上を図っていきます。	
教育相談の終結率	教育センター		68.3%		67.0%	未達成	来所、訪問、電話、メール、オンラインといった様々な形態で、相談内容に応じて個別に助言したり、適切な関係福祉機関を紹介したりしながら相談に対応することができました。	相談内容が、複雑化、長期化しているケースもあることから、相談を受け入れる教育センター職員の専門性の向上や、関係機関等との適切な連携を進めていきます。	

指標名	担当課	H31(2019)実績値及び 実績値から見た指標の方向性	令和7年度実績値	達成状況	取組内容とその評価	今後の方針等	備考
目標Ⅲ 健やかな体の育成							
新体力テストの総合評価で上位3ランク (ABC)の児童生徒の割合	指導課	小学校	81.0%	小学校	72.8%	上尾市児童生徒体力向上推進委員会では、 運動好きな児童生徒の育成や体力向上に資 する体育授業の在り方について実践的な研 修を行いました。	全市的に運動量を十分に確保した 体育授業を、通年で実施する必要 があります。授業改善に資する取 組をさらに強化して実施する必要 があります。
		中学校	85.8%	中学校	75.6%		
	学校保健 課	小学校	0.19	小学校	0.08	定期的な歯科健診を実施し、むし歯予防に 努め、むし歯のある児童生徒に受診を促 し、むし歯処置率を高めました。	未受診者には、学校歯科医にて未 受診者健診を実施しました。
		中学校	0.78	中学校	0.37		
食物アレルギーの発症件数	学校保健 課	小学校	5件	小学校	3件	上尾市食物アレルギー対応方針に則り、保 護者を含めた関係者、関係機関と連携を図 りました。	今後も、児童生徒の学校生活がよ り安全・安心なものになるよう努 めていきます。
		中学校	2件	中学校	8件		
	学校保健 課	小学校	94.1%	小学校	92.0%	「必ず食べる」割合は、平成31年度と比 べ、わずかに減少しました。	「早寝・早起き・朝ごはん運動」 調査結果の共通理解を図り、朝食 を食べることの重要性を、発達段 階に応じて指導していきます。
		中学校	92.2%	中学校	89.0%		
目標Ⅳ 自立する力の育成							
中学生社会体験チャレンジ事業に参加して 「進路意識の向上ができた」と回答した生 徒の割合	指導課		44.8%	中学校	49.1%	職場体験により、働くことの厳しさ、楽し さ、価値観について考えさせることができ ました。	さらに進路意識を向上させるた め、事前・事後学習を充実させて いきます。
目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進							
不登校児童生徒の関係機関等との連携率 (関係機関等との連携数÷不登校児童生徒 数)	教育セン ター		68%		57%	関係機関等の情報について保護者 向けリーフレットを作成し周知す るとともに、民間施設等連絡会の 開催を継続し、関係機関当との連 携を進めます。	引き続き、日本語指導が必要な児 童生徒に対し、適切な指導・支援 を行っていきます。
日本語指導職員による教育支援を受けた児 童生徒数	学務課		39人		小 68人 中 20人	引き続き、日本語指導が必要な児 童生徒に対し、適切な指導・支援 を行っていきます。	

指標名	担当課	H31(2019)実績値及び 実績値から見た指標の方向性	令和7年度実績値	達成状況	取組内容とその評価	今後の方針等	備考
目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実							
登下校時の交通事故件数	学務課		7件	↘		交通事故未然防止の徹底を行ってきたが、件数が増加しました。	各校長から、交通事故未然防止の指導を行っています。
目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上							
各学校の学校支援団の延べ活動回数	指導課		11,302回	↗		各上尾市立小・中学校において、学校支援ボランティア等を中心に学習支援、環境整備、登下校の安全支援、学校行事の支援などのあらゆる活動を行いました。	社会情勢の変化により、活動回数の増加を目標とするのではなく、各小・中学校の支援ニーズに応じた内容など質的な転換を図っていきます。学校支援ボランティア等の効果的な活用事例の情報共有を図ります。
目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進							
まなびすと指導者が実施した公民館講座数	生涯学習課		15講座	↗		令和7年度は指標の15講座を下回りました。	まなびすと指導者が講師依頼や、魅力ある講座の設定に努めます。
公民館講座アンケート回答者のうちの講座参加者の割合	生涯学習課		29.7%	→		一般向けアンケートでは初参加が約20%であるが、子供向けでは50%を超えています。	引き続き、今日的な課題を踏まえた、魅力ある講座の実施に取り組めます。
図書館のレファレンスサービス受付件数	図書館		57件	↗		火曜日午前レファレンスデスクの実施、レファレンスに関する情報紙の発行や、イベントを開催しました。	レファレンスサービスの認知度が低いいため、各媒体でPR活動を行い、利用のハードルを下げていきます。
目標Ⅸ 文化芸術の振興							
上尾市美術展覧会への出品点数	生涯学習課		455点	→		第57回（令和7年度）は、出品点数は前回より5点減少、入場者数は前回より11人増加と、昨年度とほぼ横ばいの結果となりました。新型コロナウイルス感染拡大のため令和2・3年度は開催中止となり、3年ぶりとなる第54回（令和4年度）では出品数と出品者が大幅に減り、それから現在も減少が横ばいの傾向にあります。	上尾市美術展覧会は、広く市民が出品できる市内で唯一の公募の展覧会です。作品の発表の機会を提供し、市民の芸術活動を支援するため、より多くの方が参加できるように支援を行いながら、今後も事業を継続して実施していきます。
指定・登録文化財件数	生涯学習課		122件	↗		指定・登録に向けた調査を実施しており、令和7年度現在、指定・登録文化財の件数は123件です。	引き続き、文化財の指定・登録に向けた調査を実施します。
活動している無形民俗文化財の保持団体数	生涯学習課		37団体	→		無形民俗文化財保持団体を支援するため、団体からの要望に基づき、用具の修繕費等の補助金を交付しています。また、指定登録の6団体に対し、活動助成交付金を交付しています。	引き続き、活動する団体を支援していきます。
整理・刊行された歴史資料の目録点数	生涯学習課		20点	↗		令和7年度現在、刊行された累計歴史資料目録は26件でした。	引き続き、歴史資料の保存と活用に向けた取り組みを実施します。

指標名	担当課	H31(2019)実績値及び実績値から見た指標の方向性				令和7年度実績値	達成状況	取組内容とその評価	今後の方針等	備考
目標X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進										
週1日以上スポーツを行う18歳以上の市民の割合	スポーツ振興課		61.7%	↗		54.3%	未達成	上尾市民体育祭や上尾シティハーフマラソン等のスポーツ大会のほか、市民が気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツ体験会を実施しました。事業の参加による一時的な成果はありましたが、自主的・継続的な取組として繋がる成果には至りませんでした。	誰もがスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、多様な年代に即した各種スポーツ大会や教室等の開催を進めスポーツ活動の習慣化に向けた施策を推進していきます。	
年1回以上スポーツを実際に観戦する18歳以上の市民の割合	スポーツ振興課		22.2%	↗		22.8%	◎	「スポーツ健康都市宣言」にて、現地でスポーツを観戦する「みる」スポーツの推進を掲げ、観戦機会へ繋ぐ周知を行った結果、一定の成果を得ることができました。	市民がスポーツに興味を持ち観戦する機会が得られるよう、本市にゆかりのあるプロスポーツ選手等との連携を進めます。市民と触れ合うイベントを実施するなど交流の機会を広げ、スポーツへの興味関心を高めることで、市民の観戦機運の醸成に取り組んでいきます。	
スポーツに関するボランティア活動を行う市民の割合	スポーツ振興課		4.8%	↗		5.7%	◎	上尾シティハーフマラソン等のスポーツ大会開催時に新たに埼玉県ボランティア制度の活用を実施しスポーツボランティア活動の場を拡大するなど市民がボランティアに参加しやすい環境づくりを図りました。	「支えるスポーツ」の推進に向けて、大会ボランティアの積極的な活用とともに、ボランティアへ参加しやすい環境づくりを推進し、ボランティア活動を行う機会の創出に取り組んでいきます。	

参考資料 教育委員会委員の活動状況

- 1 令和7年度 教育委員会会議の開催状況
- 2 令和7年度 教育委員会議決案件
- 3 令和7年度 教育委員会委員の主な活動

1 令和7年度 教育委員会会議の開催状況

定例会・臨時会	開催日時		場 所	出席 委員数
令和7年4月定例会	令和7年4月24日(木)	9:30~10:41	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年5月定例会	令和7年5月22日(木)	9:30~10:42	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年6月定例会	令和7年6月26日(木)	9:30~10:07	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年7月定例会	令和7年7月24日(木)	9:30~10:31	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年8月定例会	令和7年8月20日(水)	9:00~10:07	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年9月定例会	令和7年9月29日(月)	9:30~10:43	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年第2回臨時会	令和7年10月1日(水)	15:40~15:45	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年10月定例会	令和7年10月23日(木)	13:30~14:56	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年11月定例会	令和7年11月20日(木)	9:30~10:30	上尾市役所 教育委員室	6人
令和7年12月定例会	令和7年12月18日(木)	9:30~11:26	上尾市役所 教育委員室	6人
令和8年1月定例会	令和8年1月29日(木)	9:00~10:25	上尾市役所 教育委員室	6人
令和8年第1回臨時会	令和8年2月4日(水)	9:30~10:30	上尾市役所 教育委員室	6人
令和8年2月定例会	令和8年2月19日(木)	13:30~15:56	上尾市役所 教育委員室	6人
令和8年3月定例会	令和8年3月24日(火)	13:30~15:25	上尾市役所 教育委員室	6人
令和8年第2回臨時会	令和8年3月30日(月)	13:30~13:47	上尾市役所 教育委員室	5人

2 令和7年度 教育委員会議決案件

議案番号	議案名	結果	議決番号	議決年月日
議案第23号	上尾市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第23号	令和7年 4月24日
議案第24号	上尾市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第24号	
議案第25号	上尾市幼児教育推進協議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第25号	
議案第26号	上尾市学校給食運営委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第26号	
議案第27号	公文書公開決定処分に係る審査請求に対する裁決について	全員一致 原案可決	議決第27号	
議案第28号	上尾市公民館運営審議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第28号	令和7年 5月22日
議案第29号	上尾市学校運営協議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第29号	
議案第30号	上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第30号	
議案第31号	財産の取得に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第31号	
議案第32号	令和7年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第32号	
議案第33号	上尾市社会教育委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第33号	令和7年 6月26日
議案第34号	上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第34号	
議案第35号	上尾市公民館運営審議会委員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第35号	
議案第36号	上尾市図書館協議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第36号	
議案第37号	上尾市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第37号	
議案第38号	上尾市不登校対策推進委員会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第38号	令和7年 7月24日
議案第39号	上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命について	全員一致 原案可決	議決第39号	
議案第40号	上尾市学校給食実施条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第40号	令和7年 8月20日
議案第41号	上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針	全員一致 原案可決	議決第41号	
議案第42号	公文書非公開決定処分に係る審査請求に対する裁決について	全員一致 原案可決	議決第42号	
議案第43号	令和6年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第43号	
議案第44号	財産の取得に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第44号	

議案 番号	議案名	結果	議決 番号	議決 年月日
議案第 45号	上尾市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 45号	令和7年 9月29日
議案第 46号	上尾市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 46号	
議案第 47号	令和8年度当初教職員人事異動方針について	全員一致 原案可決	議決第 47号	
議案第 48号	令和8年度当初給食調理員人事異動方針について	全員一致 原案可決	議決第 48号	令和7年 11月20日
議案第 49号	令和7年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 49号	
議案第 50号	令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況について	全員一致 原案可決	議決第 50号	令和7年 12月18日
議案第 1号	上尾市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 1号	令和8年 1月29日
議案第 2号	上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 2号	
議案第 3号	上尾市教育委員会公告式規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 3号	
議案第 4号	上尾市教育委員会聴聞手続規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 4号	
議案第 5号	上尾市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第 5号	
議案第 6号	県費負担教職員の任免その他の進退に係る内申について	全員一致 原案可決	議決第 6号	
議案第 7号	令和7年度上尾市一般会計補正予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 7号	令和8年 2月4日
議案第 8号	令和8年度上尾市一般会計予算に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 8号	
議案第 9号	上尾市立大石南中学校再編検討協議会条例の制定に係る意見の申出について	全員一致 原案可決	議決第 9号	
議案第 10号	上尾市教育委員会に対する請願の処理に関する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 10号	令和8年 2月19日
議案第 11号	上尾市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 11号	
議案第 12号	上尾市学校給食実施条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 12号	
議案第 13号	上尾市立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 13号	
議案第 14号	令和8年度上尾市立小・中学校教育指導基本方針の策定について	全員一致 原案可決	議決第 14号	
議案第 15号	公文書非公開決定処分に係る審査請求に対する裁決について	全員一致 原案可決	議決第 15号	

議案 番号	議案名	結果	議決 番号	議決 年月日
議案第 17号	第4期上尾市教育振興基本計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 17号	令和8年 3月24日
議案第 18号	第6次生涯学習振興基本計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 18号	
議案第 19号	第3期上尾市スポーツ推進計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 19号	
議案第 20号	第4次上尾市図書館サービス計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 20号	
議案第 21号	第4次上尾市子どもの読書活動推進計画の策定について	全員一致 原案可決	議決第 21号	
議案第 22号	上尾市いじめの防止等のための基本方針の改訂について	全員一致 原案可決	議決第 22号	
議案第 23号	上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針の改訂について	全員一致 原案可決	議決第 23号	
議案第 24号	上尾市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 24号	
議案第 25号	上尾市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 25号	
議案第 26号	上尾市教育委員会の権限に属する事務の決裁に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	全員一致 原案可決	議決第 26号	
議案第 27号	上尾市文化財保護審議会委員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第 27号	
議案第 28号	上尾市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について	全員一致 原案可決	議決第 28号	
議案第 29号	上尾市学校運営協議会委員の任命について	全員一致 原案可決	議決第 29号	
議案第 30号	教育委員会事務局及び市立教育機関の職員に係る令和8年度当初人事異動について	全員一致 原案可決	議決第 30号	
議案第 31号	上尾市いじめ問題調査委員会運営規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 31号	
議案第 32号	上尾市学校給食実施条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 32号	
議案第 33号	令和8年度上尾市教育行政重点施策の策定について	全員一致 原案可決	議決第 33号	令和8年 3月30日
議案第 34号	上尾市立小・中学校服務規程の一部を改正する規則の制定について	全員一致 原案可決	議決第 34号	

3 令和7年度教育委員会委員の主な活動

月 日	件 名	場 所
令和7年4月1日	令和7年度新採用・転入教職員等着任式	上尾小学校
4月8日	入学式	市内小・中学校
4月24日	教育委員会4月定例会	上尾市役所
4月30日	上尾・桶川・伊奈教育委員会連絡協議会総会	上尾市役所
5月13日	埼玉県南部地区教育委員会連合会	上尾市役所、オンライン
5月20日	埼玉縣市町村教育委員会連合会総会	狭山市市民会館
5月22日	教育委員会5月定例会	上尾市役所
6月26日	教育委員会6月定例会	上尾市役所
6月26日	市町村教育委員会研究協議会	上尾市役所、オンライン
6月28日	あげおdeからだ元気フェスタ	市民体育館
7月15日	埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会	埼玉会館
7月24日	教育委員会7月定例会	上尾市役所
7月25日	中学校吹奏楽演奏会	上尾市文化センター
8月6日	上尾・桶川・伊奈教育委員会連絡協議会	つくばエキスポ 他
8月20日	教育委員会8月定例会	上尾市役所
8月20日	総合教育会議	上尾市役所
8月23日	中学校吹奏楽演奏会	上尾市文化センター
9月29日	教育委員会9月定例会	上尾市役所
10月1日	教育委員会第2回臨時会	上尾市役所
10月12日	市民体育祭	上尾運動公園
10月23日	教育委員会10月定例会	上尾市役所
10月30日	委嘱学習指導研究発表会	大石北小学校
11月12日	上尾市小・中学校音楽会	上尾市文化センター
11月16日	上尾シティハーフマラソン大会	上尾運動公園
11月19日	委嘱学習指導研究発表会	今泉小学校、大石南中学校
11月21日	教育委員会11月定例会	上尾市役所
11月27日	委嘱学習指導研究発表会	平方北小学校、上尾中学校
11月28日	委嘱学習指導研究発表会	西中学校
12月16日	教育委員会12月定例会	上尾市役所
12月25日	市議会12月定例会	上尾市役所
12月26日	上尾市いじめ防止子供サミット	富士見小学校
令和8年1月12日	上尾市二十歳のつどい	上尾市文化センター
1月27日	委嘱学習指導研究発表会	上平小学校、西小学校
1月29日	教育委員会1月定例会、総合教育会議	上尾市役所

月 日	件 名	場 所
2月4日	教育委員会第1回臨時会	上尾市役所
2月19日	教育委員会2月定例会	上尾市役所
3月13日	中学校卒業証書授与式	各中学校
3月24日	小学校卒業証書授与式、教育委員会3月定例会	各小学校、上尾市役所

令和 8 年●月発行

発行 上尾市教育委員会

編集 上尾市教育委員会教育総務部教育総務課

問い合わせ先

上尾市本町三丁目 1 番 1 号

上尾市教育委員会教育総務部教育総務課

電 話 048-775-9469

F A X 048-776-2250

E-mail s721000@city.ageo.lg.jp
